京城日報

十二日夕刊

本紙定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金五拾錢（郵稅前金）一ヶ月金六拾五錢　三ヶ月金壹圓九拾錢　六ヶ月金參圓七拾錢　▲郵券代用二割增
廣告料　▲五號活字一行金七拾錢▲雜報欄内一行金壹圓貳拾錢▲指定所一行は二號活字▲三號活字の一行は五號活字同樣▲六號活字の事
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通二丁目　合資會社　京城日報社
電話番號（編輯 三四五番　營業 三二六番 一二一四番）振替貯金口座 京城三〇〇〇番

時間表

○鄭家屯事件と支那回答
唐外交總長就任督電

外交部は鄭家屯事件に關する日本の要求に對し十一日文書を以て日本の公使に回答ありし筈猶段總理は唐外交總長に至急來任を促す旨電報せしに不日上京すべしと返電せるのみなるより九日更に目下外交懸案多く速かに上京就任を請ふと打電せり（北京特電）

○我對支要求と米國

華盛頓駐剳日本大使館の某氏は國際通信記者に語つて曰く
日本政府は支那兵暴行事件に關する對支要求の内容に就て特に米國政府より要求せらるゝあらずんば之を米國政府に通知する事なかるべしこれ該事件は米國の干與すべきものにあらざると同時に米國の利權は毫も損せられず隨つて右事件に對し米國政府と親しく商議するの必要なき事は恰も米國政府が米墨爭議に就て日本政府と商議するの必要なきと同樣なるものなり併し米國政府にして公式に日本政府に本要求の内容を提示せん事を要求せんか日本政府が之に應ずるに吝ならずと
米國々務省は發表して曰く
日支間題に關し是まで米國政府の接手せし報告は不十分にして事件の眞相を捕捉する事不可能なるのみならず日本對支要求として傳へらるゝものを見るに其内容曖昧にして幾樣かに解釋を下し得べきものに似たりと米國新聞紙は更に詳報の來るを待てるもの如く目下之を論評する事を避けつゝありて蒙古問題の重大なる事を論せるのみ（紐育電報）

○張督軍の諭告
蒙軍撤退に就て

張督軍は蒙軍に對する善後策に就き重要會議を開きたるが其決議中に見へたる諭告を試みに列記すれば左の如し（奉天電報）
一、官軍は蒙匪の大半を討平げ或は捕虜として其他全部降服したり地方人民は未だ之を知らずして尚危惧の念を抱くものあり之を安心せしめて正業に就かしむべく諭告を發すること
二、降服して歸る蒙匪一千餘名に對し掠奪なきやう食を給し沿道の民に安價に物品を賣らしむること
三、蒙匪は既に軍器を捨て降服したるも尚不還の徒約八百名あり途中叛亂の恐れなきやう軍兵をして嚴重に警戒せしめ更に吳鎮守使張聯隊長をして騎兵二個大隊を以て護送監視せしむること
四、今回の蒙匪二千餘名中には脅迫せられ附隨せしもの多し是等取調の上蒙匪より引離し相當旅費を支給して歸郷正業に就かしむること

○支那鹽務顧問

某所著電に依れば支那鹽務顧問英人ビリヤード氏は鼻癌治療の爲近日日本に渡來する筈なり（北京特電）

○蔡鍔渡日

某所著電に依れば蔡鍔氏は病氣治療の爲伏見丸にて上海發十二日神戸著直に福岡病院に入院する由（東京特電）

○羅軍のカーパシア前進
山地々方全部を占領す

羅馬尼軍隊本營附タイムス特派員の所報に曰く、羅馬尼軍のカーパシア前進は最も滿足すべき狀態の下に行はれ居れり敵は北部戰線の高地に鞏固なる防禦工事を施し頑强なる抵抗を爲せるも我軍は敵を擊攘し山地々方全部を占領せり（倫敦電報）

○勃軍羅の一市を占領す

伯林に於て發表せられたる所に據れば、勃牙利軍は羅馬尼の一都會なるダニューブ河の南岸シリストリアを占領せり（紐育電報）

○希臘王萬歳を絶叫す
雅典にて會議中ヴ反對者の闖入

雅典來電に曰く、佛國公使館に於て協商國側公使等が會議中ヴエネゼロス反對派の者二十五名公使館内に闖入し希臘王萬歳を絶叫し拳銃を發射して逃亡せり首相ザイミス氏は謝罪せしが協商國側公使は右暴行者の處罰を要求せり（倫敦電報）

○ハイウツド塹壕英軍に歸す

ヘーグ大將九日午後の公書に曰く、ハイウツドに於て八日夜激烈なる接戰あり同地獨軍塹壕は英軍の奪取する處となれり（倫敦電報）

○ソンム英佛軍捕虜三萬

某所著電に依ればソンム河の戰線に於て佛軍は獨逸の捕虜一萬七千英軍は一萬五千を獲たり（東京特電）

○獨逸飛行機工場全燒

コツペンハーゲン來電に依れば伯林市に近き某市なる飛行機工場爆發して全燒し十臺の飛行機破壞されたりと（倫敦電報）

○丁領印度島購入批准

米國上院は丁抹より同國領西印度諸島を購入するの米丁條約を批准せり（紐育電報）

○蘭領叛亂

アムステルダム來電デリーテレグラフの所報に依れば蘭領東印度諸島の叛亂は局部的のものにあらず極めて愼重に決行せられたるものなれば決して輕々に見做すべきにあらず九月二日叛徒はモラテボ砲臺を猛襲して擊退せられ二十名殺されたりと又海牙來電は下の如き蘭領東印度總督の報告を傳へたり曰くメアラタンベシ村は激戰の後叛徒の占領する所となれり其國守の家族が多分叛亂に關係せるならんとの疑ひあり（倫敦電報）

○二百廿日の天候

二百二十日の天候に就き中央氣象臺の觀測に依れば十日日本海にありし低氣壓は十一日朝北海道兩岸に押寄せたる爲東京附近及び房相豆總附近は十日午後より一層風力を增し東京は十一日朝の風力は八米突に達し又た紀州南方なる潮岬邊も十五米突の風あり北海道奥羽地方に多少の風雨を見るも他は概して平穩なりと（東京特電不良延着）

○上旬貿易出超

大藏省の調査に依る九月上旬の貿易高は輸出二千九百八十三萬一千圓輸入千八百四十三萬圓にして差引輸出超過千百四十萬一千圓に達し之を前年同期に比すれば出超五百六萬八千圓を增加し一月以降の累計一億七千五百九十萬圓に達せり（東京特電）

◉政務總監出發

山縣政務總監は閑院宮殿下奉迎の爲め高橋武官、遠藤秘書官、藤波通譯官等を隨へ十二日午後七時五十分南大門發汽車にて釜山に向ふ事となれり

◉軍司令官出發

秋山軍司令官は遣露大使宮奉迎の爲め古城副官を隨へ十二日午後八時龍山發列車にて釜山へ向ふ筈にて更に南大門驛通過新義州へ御見立申上ぐる豫定なり

◉露國藏券締切

第二回露國藏券七千萬圓の賣出しは十一日より開始せしが賣出し前の豫約既に總額を超過し居りしものらしく豫約申込の正式手續きを終ろ頃既に公募を締切りたり而して朝鮮銀行への申込高は既報の如く本支店を通じ約五十萬圓なるが該額も全部募入に決するや否や不明の由尚ほ一般の公募に對する申込高が何程に達せるかは十二日迄未だ鮮銀へ通報なき爲め不明なれど金融緩漫の際比較的有利の證券とて一般の人氣よかりし爲め恐らく募集總額を超過し引受銀行團の手に歸するものはあらざる可きかと云ふ

◉漢農藏券應募

漢湖農工銀行にては今回鮮銀にて公募したる第二回露國大藏省證券に對し二十萬圓の應募申込みをなせりと

◉京釜線不通區間の現狀
遣露大使宮御通過期迫る

▲徒步聯絡開始　十三日朝より

各水害現場に於ける從前工事は其後着々進捗し遂に十三日朝南大門發列車より京釜線始興安養間徒步聯絡（徒步區間約一町）を開始の運びと成りたるが同列車は南大門發の定時八時三十分なるが特に南大門發を七時四十五分に繰上げ現場徒步聯絡の時間を見込みて途中の時間を節約し定時釜山著の豫定なりと時刻左の如し

南大門發	午前	七、四五
龍山著	同	七、五〇
同發	同	七、五五
永登浦著	同	八、〇六
同發	同	八、一〇
現場著	同	八、二六

▲宮殿下御通過　尚ほ不通の場合

大屋鐵道局長官、稻垣工務課長は部下を督して工事の進捗に努めたる爲め十三日朝より徒步聯絡開始の運びと成れるが右記の如くなるが十四日朝は遣露大使宮御通過に付き其れ迄には是非共開通の運びに至らしめんと必死の努力を盡し居れるが今の處何分未だ減水せざる爲め工事も自由ならず水防等にも力を致し居る事言ふ迄もなければ或は十四日朝迄に列車通過の事と成らざるやも計られず若し列車現場通過の事と成れば宮殿下御一行は釜山仕立の特別列車にて南大門迄成らせられ南大門にて滿鐵貴賓車に御乘換の上北向あらせらるゝ運びなるが萬一其れ迄に列車不通の際は釜山よりの列車は現場迄車を進め約一町餘の間を御徒步にて聯絡を執らせられ此岸に御出迎の上ぐる貴賓車に御乘車の上南大門に御着の豫定なりと云ふ

▲長官現場出張

現場に出張中なりし大屋長官は十一日午後歸京したるが諸般の事務を總覽したる上更に十二日正午南大門發列車にて現場へ出張せり

▲郵便疏通　上下便共に差あり

九日夜來不通の爲め杜絶し居る京釜線水原永登浦間の郵便遞送は遞信當局の努力により十一日夜漸く疏通せしが右に付矢野通信課長の談を聞くに

▼水原停滯一掃

九日夜來水原に停滯せる内地方面より京城及び京城以北行きの普通郵便は列車の開通期不確定なるを以て十一日正午水原を發し京釜國道に沿ひ永登浦に向け輸送を開始したるが人夫募集の困難及び道路の破壞著しきものあり非常の苦辛の末十二日午前一時八里を運搬して永登浦著午前八時京城著局一號配達便の出局を若干遲延し午前九時より一般への配達を開始せるが京城龍山著の普通郵便行囊は七十個なり又京城以北行きは幾分遲延し十二日午後三時南大門著卽夜北方に仕立つべし

▼下り便差立

京城及び京城以北より内地方面行き普通郵便は大行囊百零四個の堆積を見たるが十一日午後二時四十分永登浦發水原に遞送したり此の方面は輸送好都合に赴き同夜水原發急行列車に積込むを得たるが何れも夜中の遞送なりし爲め監視に手を要し又遞信局にては手隙の事務官補以下郵務係員の多數は徹宵執務せり而して十二日は午前八時三十分南大門發列車に郵便物を積込み始興に差立て始興より軍浦場に陸送連絡の途をとるべし

▼湖南線方面行

頭日來豪雨の爲め各地出水鐵道線路破損等の爲め南鮮方面行郵便物堆積中の處湖南線方面行郵便物は十一日仁川より海路群山に輸送せりと

◉元永鐵道開通
來る廿一日より

咸鏡線元山文川間延長線は既に工事竣工諸般の設備完成したるを以て愈々來る二十一日より元山永興間の營業を開始する事と成りたり發著時刻左の如し（混合車）

	午前	午後
元山發	八、〇〇	五、〇〇
德源發	八、二〇	五、二〇
文川著	八、二六	五、二六
同發	八、四〇	五、四〇
前津發	九、一九	六、一九
高原著	九、三三	六、三三
同發	九、三六	六、三九
永興著	一〇、〇〇	七、〇〇

	午前	午後
永興發	一〇、三〇	七、二〇
高原著	一〇、五四	七、四四
同發	一〇、五七	七、四七
前津發	一一、一一	八、〇二
文川著	一一、四〇	八、三〇
同發	一一、五〇	八、四〇
文坪發	一二、〇五	八、五五
德源發	一二、一九	九、〇九
元山著	一二、三〇	九、二〇

◉西咸輕鐵延長出願　成興

炭鑛株式會社經營に係る西湖津成興間輕便鐵道は昨年十二月より營業を開始せるが開業以來貨客輸送數量多く爲めに從來の停車場にては不便極りなきより今回城川江々畔を延長して市中の中樞地たる大和町迄延長する事となり此程其筋に願書提出に及べり

◉江原素六翁退京期　基督

教協同傳道のため入京中の上院議員江原素六氏は京城ホテルを引揚げ目下大和町二丁目三井氏宅に滯在中なるが京釜線の故障復舊次第直ちに出發歸東すべし

◉西貢日本名譽領事　佛領

西貢日本名譽領事佛人イサリエージ氏は十二日朝八時北方より南大門著京釜線復舊を俟つて神戸へ直行の豫定なりと

◉阿部支店課長著任　新任

鮮銀支店課長阿部秀太郎氏は十一日午後七時卅分著列車にて家族同伴平壤より入京蓬萊町の舍宅に入りしが停車場には高瀨局長島雄佐藤飯泉谷課長外行員及び夫人新聞記者等の出迎盛んなりき

◉京畿水害狀況

九日夜來豪雨ありたる爲め十日夜楊州郡蘆原面德沼里に於て漢江支流は廿四尺五寸に增水したるも十一日午前四時二十三尺に減水したるも同地と各方面との交通は尚杜絶せり又十日午前二時始興郡東面安養里に於て一家五名溺死内四名は屍體を發見せるも尚一名は不明なり此他同郡同面始興里に在る京畿道廳畜牛場の畜牛三頭溺死せり

◉京城藥學會例會　京城藥

學會にては來る十七日京城商業會議所に於て例會を開き會員の藥學研究上の講演ある由一般來聽差支なしと

◎正誤

十二日朝刊二面『開通如何』と題する記事中徒涉連絡は『徒步連絡』の誤植又同記事末段當局の最も恐惶せる所で其の必要を念とせる云々とあるは必無を念とするの誤植に付正誤す

仁川

▲仁川府在酒量　仁川府に於ける九月一日の持越酒類數量は釀造酒一千七百九十六石一斗四合此稅額八千四百四十三圓二錢蒸餾酒六百七石一斗六升八合此稅額一萬六百六十圓七錢再製酒二十九石六斗四升三合此稅額二百二圓四錢合計石數二千四百三十二石九斗一升五合稅金一萬九千三百五圓十三錢なり▲在仁川外國人數　在仁川の外國人數は戸數二百七十六戸人口千二百五十八名なるが内譯は英人七戸男六名女七名、米人五戸男三名女七名、獨逸男七名女七名、佛人七戸男二名女四名、希臘人一戸男一名女二名他は皆支那人なり▲松元警視巡視　松元警視は管内巡視の爲め十二日午前より鹽興へ出張せるが卽夜歸署せり▲及川警部　十一日著任せる當署行政主任警部及川敏夫氏は家族引纒めの爲め十二日午後入京せり十二日早朝歸任の筈

全州

▲輕鐵八月の收入　復舊工事を竣へ七月下旬以來運轉を開始中の全裡間輕鐵は八月中三千八百三十圓四十五錢の收入を擧げ其乘客數八千六百五十人貨物千百四十噸にして一日平均百二十三圓五十六錢なりしと▲府尹郡守會議　來る十二日より向ふ四日間道會議室に於て開催の筈▲警部考試々驗　全北警務部にては去る五六日の兩日觀風閣にて考試々驗を行ひたるが受驗者は内地巡查部長三名鮮人二名なりと▲防疫事務視察　伊東警務部長は若塚慈惠院長と同伴防疫事務視察として去る三日以來沿線群山、裡里、井邑、金堤地方旅行中の處此頃何れも歸廳せり

光州

▲棉花開絮期　全南棉花開絮期は本月に入り既に終期に入りたるが早きは九月一日開絮したるもあり左り乍ら矢張り雨の爲め一般に遲れて目下尙ほ捗々しき開絮を見ず殊に雨及び寒氣は此際最も忌むべきものにして啻に減收を見るのみならず品質非常に下落すと而して天候尙ほ恢復せざれば作柄如何と道當局にては非常に憂慮し居れり▲赤十字委員部新設　本道にては可成多數の赤十字社員を有する郡に委員部を置き尙ほ多くの社員を入會せしめんと計畫し今回光州、麗水、順天、海南、靈岩、務安、羅州、長城、濟州の九箇所に委員部新設郡守島司を委員長に囑託せり▲光州持越酒　稅令發布に就て調査中の本郡持越酒は五百九十餘石にして釀造業者は四名なりと▲中學設置協議　光州に中學校を設置し度き希望を有する有志家中には密々設置運動に就て協議中なるが近く大團結を作つて運動に著手すべき模樣なり▲警務部長巡閲　浦野警務部長は近く木浦濟州兩警察署を巡閲すべし▲光松間道路改修計畫　光州松汀里間道路浸水交通杜絶が屢々なるは既報の通なるが宮木長官は歸任後直ちに土木係に命じて之が應急交通策を講ぜしめ同時に今後斯くの如く僅かの降雨に交通杜絶を見るが如き事無き樣相當の計畫を立てゝ改修を爲すべく計畫中なりと右に依り光松兩地居住者は長官に依り一日も早く其の現實方を希望し居れり▲道地方費豫算更定　今回屠畜稅の改正及び保護牛規則發布に伴ひ地方費豫算更定されたるが歲入出とも總計廿三萬三百三十一圓が二十四萬八千七百九十三圓となりたるものなり▲光州神社の設置　光州神社の設置に就ては松田學校組合管理委員長となりて奔走中此程一切の明細書取纒まり發起人の調印も終りたるより既に其筋に提出したりと▲光州大隊演習　來十月上旬光州第二大隊に於ては所屬中隊なる全州海南茂長光州の各中隊を集中し光州附近の廣野に於て大隊演習を擧行したる上十二日出發途中行軍して廿日大田にて行はるゝ第四十旅團の聯隊對抗演習に參加する豫定なりと▲判任見習試驗　來る十月十日道廳にて判任見習試驗を行ふべく志願書は九月廿五日迄に提出すべしと▲氏野氏へ香奠　不慮の災厄を蒙り長逝したる前海州法院氏野檢事正家族に對し光州法院有志は香奠を贈りたり

大邱

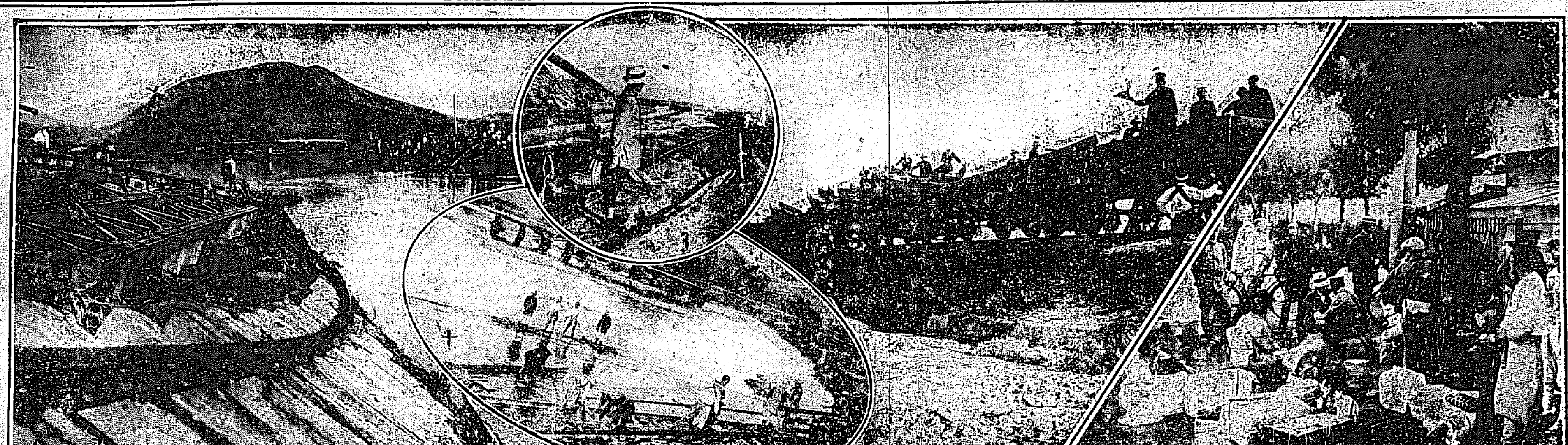
▲慶北警務機關增設　慶北憲兵隊にては警務機關配置完備の目的にて九月六日附を以て尙州郡青里同內西▲聞慶郡葛坪、同幽谷▲迎日郡土城の五箇所に憲兵出張所を新設せり▲府郡島庶務主任會議　慶北道府郡島庶務主任會議は十月五日より七日まで三日間開會の旨各府郡へ通牒を發せり▲前支店長へ記念品　朝鮮銀行大邱前支店長仙波正太郎氏は廿日頃出發に付き入澤第一部長服部警務部長其他官民主脳者の發起により送別會に代へ記念品贈呈に決したり▲驛屯土水害地　慶尙北道管内各府郡に於る驛屯土面積中水害面積は大邱、慶山、漆谷、永川を除き二十郡に亙り總面積一五六九二、二二三町步に對し水害面積は五二二、五五二町步なり▲上水道配水池工事　大邱上水道配水池工事は目下七分の出來にて内部の構造を僅か餘すのみにて現今上部掩蓋工事の最中にて來春三月中旬竣工の豫定なり

人事消息

▲柴崎京城中學校長　江原道公立小學校長會議に出席したるが七日午前歸京
▲島山虎也太氏（平壤覆審法院長）　十日午前内地より上陸歸任
▲服部滿氏（釜山地方法院判事）　同上
▲高橋長秋氏（百三十銀行副頭取）　同上北行
▲林駒生氏（全南技師）　九日午後内地より釜山上陸歸任

□大邱より　活堂

秋涼しく火色なつかしむ日のあり
秋暑き日車の花首たるゝ
上衣ぬぎつゝ進む野菊の盛り
ガラスぶく庭からの秋日和かな
彼には彼なりと濟まされ秋なり



月光、鶴嘴に冴えて
江上の篝火に照らし出す數千の人影
京釜線水害視察記
安養驛にて 金谷特派員

十一日の午後四時卅分發の臨時列車に乘つて京釜線の水害地へ向ふ、南大門驛の構內には『始興軍浦場間水害の爲め線路不通につき始興以南行き荷客の取扱致さず候開通は

■今後四日間位ゐ の見込……九月十一日南大門驛長』と記した揭示板が見ゐる、赤い腕章を記した驛の案內係は兩手で耳をおさへながら列車の問合せの爲めに電話の應答に困りましたといふ

◆列車不通 の爲め京城に停つた人が頗る多數に上つてゐると見ゐる、それかあらぬか列車の中は旅客らしい人影もなく唯だ現場に赴く印袢纏の人や鮮人人夫ばかりが混雜して貨車はまた鐵道枕木などの修築材料を滿載して居る、漢江の鐵橋は二十七尺の增水の爲めに濁流滔々遙かに永登浦のあたりまで一面海の如く水に浸されて居る、畑とも見ゆるあたりには點々ポプラの枝が水面に浮むで居る、永登浦から始興の間も

◆窓外の田 畑は一面の水であつた、これでは農家はたまるまい五時十分始興の驛に下車するとこれからさき安養、軍浦場までは線路不通の爲め

■手狹な驛は戰場のやうな

大騷ぎ、臨時特設の電信機とチリン／＼の電話など驛長や驛員は眼を廻して居た折から山積した建築材料の彼方にワッと凄まじい

▼喊聲があがる と見る間に遙に驛の南方には一團の鮮人々夫が右往左往に走つて居る何が起たのかと訊いて見ると實は此人夫等は十一日の朝から飯にありつかれぬので只今炊出しの釜に突貫したところですとのはなし、四斗樽の裡から澤庵を奪つて逃げ出す者。追かける男、ゴッタ返しの混雜である、折から

▼釜が破れたぞ！と叫ぶ男失望した男、晝夜兼行の工事を急ぐ人夫等は食に餓ゑた眼を輝かしつゝあつた『暮れぬ間に安養驛まで往けませうか』と南から來た憲兵さんに訊ねて見ると『われ／＼は今日の正午頃水原から來ましたが

▼途中は數回河 を渡らねばなりませぬ、水原には十日から宿に泊り込むだ京城行きの旅客がなか／＼混雜して居る』とのことであつた十日水に浸された始興の驛は南行するに從つて軌道の上まで枯草の類が押しよせられてある、行く道々には大高組、秋山組、橋本組、藤井組などと記した

▼印袢纏の男が 頻りに人夫を督勵しつゝある、ショベルを持つた男、鶴嘴を持つた人夫、それに叺の土俵を築きあげる人もあれば、ドシ／＼丸太を擔ふ男もある『此邊は』と言はるゝまゝに修築のされた橋梁を見れば押流された築堤の其處此處新らしい土俵と枕木の

▲夜半裸體のまゝ逃れた

これからさきの安養川は鐵橋が四十間破壞されてあるから徒涉するには遙かに下流を渡るがよいとの注意に廣い砂原の安養川を渡る、川向から水原方面の旅客が出て來て何れも

▲月夜の流水を 鮮人の背中に負はれて渡りつゝあつた、安養驛に近い畑の中で水に押流された牛小屋を見つゝ鮮人家屋かと思ふたところ意外にも家中から人聲がして『此道路は橋が墜ちて行かれぬから安養に行くには鐵道線路をおいでなさい』と云ふ、此の人は此の西二面で農作をする向井といふ人で隣家の玉越氏と共に

▲作物を水に流 され甘藷などはすつかり此の水に腐らして了ひましたとこぼして居た『雨は九日の

▲八哩を三時間で
始興、安養、軍浦場間

十日以來不通となつた京釜線の安養軍浦場驛八哩間は未だ列車の開通に至らざれども徒歩すれば充分行くことが能きる十二日朝の實地踏查によれば先づ水原方面から北行する人には軍浦場驛、安養驛間

▼約四哩は 安全に步行することが能きる次ぎに安養驛と始興驛間約四哩は途中安養川の流れを渡るだけであとは安全に徒步することが能きる、されば目下線路不通の箇所はたゞ安養川の徒涉のみが問題であるがこれも十二日の朝に鐵道局から川船を輸送したから今に渡船の便宜も出來ようし且つまた下流は

▼鮮人の背 に負はれて涉る

■棧取で應急修理が

出來あがつて居る、夕暮れの途を軌道づたひに南行すれば路傍濁流の渦巻く楊柳の樹陰に一つの特設の電話があつて一人の係員は頻りに

■材料運搬の指圖 をやつて居た、軌道に出會ふ人々には鐵道局の技師が行く人夫頭が來るそれにビタを打ちおろす、數十人の人夫の群は『エンヤラヤノ、チエーホイ！』を繰返しつゝ枕木の間を固めて居る、虫の音を分けつゝ三幕洞の峠に來た時左手の冠岳山からは十四日の月が出た、擲割の石垣は

■また水の爲めに 崩壞して居る『安養は彼方の灯の見ゆるあたり』と聞いて急ぐ程に向ふにも亦一團の人夫と篝火が見ゐる、此處も亦小橋梁の修築工事で折からあたりの栗林の下には數百人の人夫が夕飯の催促にわめいてゐた

朝五時から降り出して十日の朝まで一刻も小歇みなく續きました、いよ／＼水に襲はれたのは十日の午後十時半頃で私共は裸體のまゝ鐵路づたひに夜半の一時頃安養驛に脫れました、兎に角河水はあの一丈あまりの

▲殺到したので ありますから此のあたり一帶はまるで湖水のやうになりました水のひいたのは十日の午後三時頃で家に歸つて見ますと

■水害畫報說明 （一）始興驛に於ける旅客の混雜（二）漢江の河船を安養川に輸送する臨時建築列車（三）安養驛附近築堤の大潰壞（四）安養川鐵橋に於ける修築工事並に破壞されたる橋梁（五）破壞されたる安養鐵橋

鐵道線路を越ゑて

こともできるされば此の際始興安養軍浦場間八哩を踏破する勇氣さへあれば約三時間を費して充分難所を越ゆることが能きる併し鐵道局に於ても目下晝夜兼行で修築工事中であるから十三日の夜までは充分完成する豫定である、併し唯だ安養驛の附近安養川の鐵橋だけはそれまでに間に合ふか否や頗る疑はしい、若し間に合はぬとすれば南大門釜山

▼兩側から 列車を進めて鐵橋の間だけを徒步連絡する豫定であるとのこと、併し安養川の鐵橋も茲兩三日中には假工事が完成し充分列車を通すことが能きるであらう（十二日正午記）

家の床まで浸水して居りました』人のはなしでは此の鐵道が出來て以來の大水であるといふことです』と語つた

▲芋の葉に光る 月影を見ながら安養驛の手前まで行くと道回はまた長さ三四十間にあまる

▼堤防が崩れ て軌道は曲つたまゝ脚下の川に落ち込むである崩れ殘つた馬の脊のやうな築堤の上にはまだ數百人の人夫がショベルを振ひつゝ頻りに線路移設工事を急ぎつゝあつた、これで愈よ安養驛に着くすると小さな驛の構內には稻垣工務課長が陣取つて四方に電話や電信の指圖を傳へて居た、所長曰く『全部の假修理は十二日の夜までに出來る、軍浦場、安養間は心配する程のことはない、たゞ

▼安養川の鐵橋 が問題だがこれも一時船で間に合すこととする、道回の水は實に去る卅九年に於ける芙江烏致院間の水害以來のことで九日から十日までには一晝夜少くとも三百粍の雨量であつたと思ふ崩壞した箇所は以前會社經營時代に經濟狀態の惡かつた時建設したもので道回のやうな災難にあつて申譯もない、今後道回改良工事をやつたならば今後斷じて斯樣な不幸を

▼繰返さぬ決心 である』と其處へ水原方面の松田保線長が來る電信が來る、課長は此の二三日來徹夜で監督しつゝあるとのことであつた

色彩 麗はしき綴錦
露國帝室に贈らるべき壁掛

露國帝室に贈らるべき綴錦壁掛は帝國政府が先年西班牙平和殿に寄贈せるものと同じく京都川島方にて製織する由なるが意匠は菊地芳文氏山田耕雲齋伯の考案に成り下繪は河島甚伯之を畫き色素は卅の多きに上り眼も覺むるばかり壯麗なるものなりと（大阪特電）

七十餘名 水鉛鑛を襲ひ盛んに盜掘す

全北長水郡溪內面に於て過般水鉛鑛を發見され未だ其の採掘許可の運びに至らざるに早くも之れを目的として鑛夫の入り込むもの既に二百餘名に及び附近の鮮人宿屋に宿泊し空しく是れが許可を待ち居る狀態なるが元來彼等は今日まで

△各地の鑛山を

徘徊し居りたる者のみにて一定の住所とてはなき無賴の徒なれば長水署に於ては是等の取締を嚴重にし夜警團を督勵して窃盜の豫防を警戒しつゝありしが去月二十五日鑛夫等は食料に窮し七十五名大擧して水鉛鑛を襲ひ旺んに盜掘し居れりとの急報に接し直ちに長水憲兵分遣所にては憲兵一名、補助員二名を現場に急行せしめたるに彼等は早くも之を覺り其の大半は山深く逃走したるも內逃げ遲れたる七名は現場に於て逮捕したり該鑛區は何分深山幽谷にして

▲交通不便の地 なるが故に取締上甚だ困難を感ずるのみならず彼等は巡邏の憲兵巡查の姿を見れば直ちに森林內に身を隱し是等憲兵巡查の姿消ると共に顯はれ盜掘を恣にする有樣にて其後數回に亙り其筋よりも出張搜索したるも彼等は見張番を附し警戒を施し居りて逮捕頗る困難なるのみか動もすれば暴行に出でん虞れあれば萬一の危險を慮り其筋に於ても二名以上を組み出張警戒に努めつゝあると同時に他方より入込來る鑛夫等に對しても或ひは說諭し又たは處罰に附して本籍地に還送し居れりと

讀者文藝（一等には五十錢其他には粗品を呈す）

△俗謠『古』 黃海道載寧 案西 穗波

◎二十五年の銀婚式を古りた女房は砧打つ（一等）

△向ふ鉢は古りてもゆけど立て引は變りやせぬ 釜山 松野 芝人

△古武士ながらの殘從に横にや縱りない新香 京城 城田 山翠

△古い女房は他所から見ればいらぬ操でも捨てられぬ 水原 迷金 五曉

△秋の夜長も話はつきぬ過ぎて短しい古馴染 京城 大島 柴浪

△月に古びた村里思や可愛兒が居る妻が待つ 群山 山城 錦川

■課題及募集規定は欄外にあり

◎一家五名慘殺の 水兵は銃殺か

鎭海海兵團三等水兵安澤孝之助（二二）は鄕里に歸りたる際繼母の酷遇せるを動機に實父、繼母及び弟妹五名を慘殺したる件は近く判決ある筈なるが所詮銃殺は免れざるべしと（大阪特電）

◎二名の壓死

高陽郡崇仁面敦岩里居住支那人周家庄方傭支那人階監田（三五）同美福九（二九）の兩名は九日午前十一時頃の豪雨の爲め住家倒壞せし際無慘の壓死を遂げたり急報に接し係官出張檢視の上屍體は雇主に引渡せり

演藝案內

有樂館 本町一丁目 電話二六六 日本活動寫眞株式會社特約
九月八日より特別大寫眞提供 ○暗殺ナハリーク ○以後 ○一九一四年ダービーの大競馬 △日活會社大傑作新派劇沼津の樂 △新派大悲劇『要子』全四巻 △危うきは人の運命疑惑の渦に卷かれて秘密を持てる櫻子の身の上は花の色移ろひ易き戀の呪ひ ... [illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇
大阪女義太夫大一座來る 四日目十二日語物（糸豊竹東昇鶴）△御祝儀の段（廣久）△白石噺五つ目田植の段（林廣）△三十三間堂棟由來平太郎住家の段（住子）△玉三道春館（林玉）△伊賀越六つ目沼津（は昇）△日吉丸三段目小松山城中（久子）△佐倉曙宗五郎子別（廣治）△先代萩御殿（林之助）◎晴雨に拘らず毎夜午後正六時より開演

大正館 愈本夜限り 戰禍 愈本夜限り

黃金館 電話二八五二（階上）二六三七（階下） 天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店 M・カシー商會 朝鮮一手代理店
九月七日より特別大寫眞提供 ○實寫西國寫眞 ○米國の探險 ○泰西大活劇『快報』最長尺兒ろし嬉しき快報の宇聞くし如何なる快報を齎すか ○教訓琵琶劇孝の德最長尺兒島旭洲琵琶彈奏 見よ人の親……人の子！可憐なる孤兒が孝の德 △大冒險大活劇第九『名金』第十七編 ... [illegible]

御成座 御成町 電話一一九一
革新派中村榮一行 第八十六回替狂言（九月十三日）一番目 松山嵐 全九場 ... [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動株式會社朝鮮代理店
九月十三日より特別大寫眞 ○實寫イタリーの風景 ○滑稽メリーピンプル ... ○軍事活劇『軍使』全三巻六千呎 △立花貞次郎一派出演△日活會社最近撮影の新派大悲劇『小夜嵐』全三巻廿八場 ... ○舊劇『柳生重兵衛旅日記』全三巻 ... [illegible]

琴古流 尺八樂譜解說 一部十錢 郵税二錢
琴古流 尺八樂譜 日本樂器發行 水野呂萌
東京小石川區大和町 尺八教授 水野呂萌

京城本町二丁目 増田本店

各地 支店長 募集
讀者の最も便益なる文明的販賣方法を以てする有益書籍の販賣に從事せしとして多大の報酬と賞與的獎法あり、詳細は郵券封入會則請求あれ
東京下谷西町三 帝國教育學會

東洋一流行の魁 内田式ストロング靴は堅牢優美、値段一割以上保證す

御旅行用 靴と鞄 ◎定價表郵券二錢
東京市芝區櫻田伏見町角 内田靴鞄製造問屋

運命を聽みあり
性相學會 朝鮮支部
京城永樂町二丁目 （電話弐弐參番）
毎日發表 料金一圓 會員十錢 會員一ケ年金一圓五十錢
●●鑑定 會員

故春樹葬儀の際は態々御會葬被成下難有御禮申上候混雜中尊名伺洩も有之候に付乍略儀以新紙御禮申上候
九月十二日
父 魚住春樹
親戚總代 江上恒之
友人總代 飯田茂登雄

連絡船上陸客 八日午後發 吉丸より上陸客 小西伊三郎、鄭久鎭、小森田利作、治政一 ... [illegible]

佐々木兆治、石井平次、高橋伊之吉、同みち子、山下ひさ、佐々木しずゑ、小畑吉右衞門、岩坂辰之助、上井ます、韓仁守、谷水登、金秦功、李福娘、鄭康錫、河村さの、十五名

九日午後 ... より上陸客 白土きよ、中村正三郎、祝存眞雄、同のぶ、角野、古川雄夫、吉岡清三、伊藤良之助、林寶蔵、中村勝、同勝、森嶺房太郎、齋藤虎蔵、桜倉重貞、齋藤あさ、同よし、細田喜平、石爾とみ、成田... 三... 坂本... [illegible]

十日午後入港對馬丸二等客 一等（八名）合田久太郎、島山茂也太、鈴木軟、天野光一郎、村田武一、片山英一、栢田清... 上うめ、二等（四十八名）飯田市太郎、中村屋左衞門、秋之新平吉、門牧、西山守太郎、吉田運衡 ... [illegible]

十日午後入港對馬丸二等客 一等（一名）大竹太郎、二等（十四名）金健元 ... [illegible]

■課題及募集規程 ◎課題 ... ◎募集規程 △用紙は端書又は同型の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事 △締切は每週火曜日... △種類の異る每に用紙を更よ ... [illegible]

氣象 晴れ一時曇り（九月十三日...） [illegible]

天狗の面々手ぐすね引て

待ち兼ねた獵期は十五日から

二箇月に獐を八十頭＝一獵期千發の彈丸

松茸の走りが出て浴衣が單衣物になる頃から狩獵家の多くは時は來れりと銃の手入れやら彈丸の注文獵犬にも充分な餌を與れて用意おさ〳〵怠りがない每年九月から十月にかけての狩獵家の戰鬪準備と云ふものは實に素破らしいものである朝鮮の獵期は普通十月一日から翌年の四月三十日迄の七箇月間を公許されて居るが黃海道、平安南北道、咸鏡南北道の五道のみは九月十五日から翌年の五月十五日迄前後に十五日間宛一箇月間獵期が長い、狩獵家の一等多いのは何と云つても京城で每年の獵期に

▲鑑札の下附を出る　狩獵家が七百人位ある▽

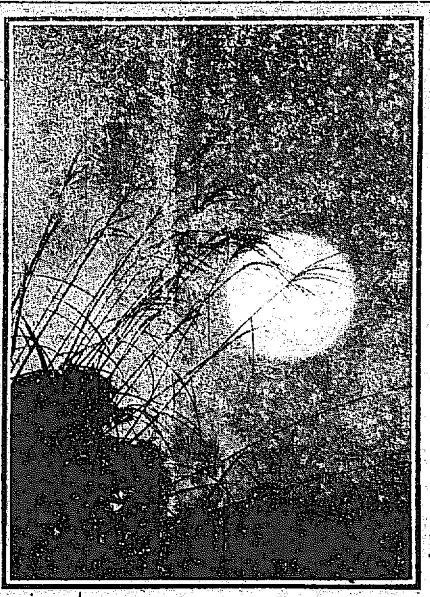
のを見て如何に盛んであるかと明る先づ京城で狩獵家と目されて居る頭士の面々には李王職の小宮次官、末松事務官總督府の持地局長、人見農務、弓削學務の兩課長、遠藤秘書官、宍戶鐵道局には和田參事を始め山崎、關口、門奈、花田、鮮銀の三島理事、森、林、倒木の諸氏京城中學校は柴崎校長を筆頭に十數名の狩獵家揃ひ民間では和田病院の院長さんから總督府醫院の里野、衣笠、池田小林の各病院長、東拓の谷川氏、京城電氣會社の小林、米野、大多和塚谷洋品店主の諸氏等で本町五丁目の若林君は專門の狩獵家南大門小學校の森訓導は素人離れのした名人だとの評判である和田院長などは和田外科病院長としてよりも狩獵家の和田八千穗と云つた方が世間に廣く知られて居ると御本人自ら仰しやる位の勢だから看板に僞りなしと云つた樣な格の所從つて獵犬も逸物を三四頭飼はれて居る

▲京城には獵友會　同好者の團體があつて▽

獵期毎に聯合の狩獵會や又は自働車を驅つて遠征を試むることもあるけれども多くは單獨狩獵の方が多い狩獵家には各得意の場所があつて大抵は土曜日の夕方から出て日曜日の夕方歸ると云ふやうな日取で行くものが多いが朝鮮は鳥が多い所爲か銃さへ持つて出れば素手で歸つて來る樣な者は一人もないらしい尤も內地邊では銀彈と稱して拙手な狩獵家は不獵のテレ隱しに途中の鳥屋から金を出して買つて來ると云ふ强者もあるが朝鮮の狩獵家就中京城の狩獵家にはそんなずるい人は一人もないことを保證して置く獲物の數となれば誰が幾何取つて來たと云ふ證明書のない以上は算盤の採りやうもないが前掲の大家ならば一寸出た斗りでも雉の五羽や十羽は譯はないそうだ獵を以て生活として居る若林君の如きは一箇月間に少なくも四五十圓多きは百圓以上の收入があるそうであるが安養で畓圃を經營して居る谷野氏の如きは狩獵の名人で昨年は十、十一の二箇月間に八十頭の獐を獲たそうだ獐は鮮人が肺病の妙藥ぢやと云つて一頭平均五圓位で賣買されるからして二箇月間で四百圓の收入があつたとすれば獵も亦馬鹿にはならぬ

▲獵銃と彈丸とは　如何にして供給されて▽

居るかと云へば多くは京城にある藤木、瀧川、堀戶の三軒の銃砲火藥店から供給されて居るが値段の都合で內地から引いたり又は上海などの外國人から取り寄せて居るのもある京城の狩獵家が持つて居る獵銃は失禮ながら百圓以上の品は片手を屈する程もなく大方は十一番か二番の五六十圓の外物と云ては氣儀を失する懼があるが兎に角實用向な品が多數を占めて居る、彈丸は戰亂の影響を受けた爲め一發八九錢位で取引されて居る原料を買つて自宅で彈藥を製造すると云ふやうなことは幾多の危險が伴ふので近來は殆んど此方法を行ふものはなく既製品を買込むからして自然金も澤山掛ることになる一人前何程の彈丸を使用するかは獲物の數と同樣判らぬが平均一獵期に七八百乃至千發位の彈丸を使ふと云はれて居る此七八百乃至千發の內何發迄命中するかは無論其人の腕次第だ



中秋　明月に座頭の妻の泣く夜かな

職に殉じたる看護婦長

順化院の看護婦長和田しげ子(三二)は明治四十四年八月同院の看護婦を拜命せし以來勤勉の聲高く遂に大正三年十二月看護婦長に引立てられて上官は素より同僚の氣受もよく殊に入院患者よりは親切な婦長さんとして仰がれて居たが本年八月二日入院した某患者を看護中其患者は全快したるに引換へてしげ子は遂に走痢病に感染し爾來同院に於て治療中の所本月十日午後二時五十分死亡せり同院を始め監督官廳たる京城府にては職に殉じたる篤志の看護婦として少なからず同情を表して居た

●坂出技師講演　十四日午後四時より京城女子高等普通學校に於て坂出技師の西歐婦人子供に關するおはなしあり

●倉橋惣三氏講演　兒童心理學の大家倉橋文學士は十三日入京同日午後より南山高等女學校に於て一場の講演を試むる筈

●花と蔬菜　已う彼岸も間もなくなつた、人が單衣を脫いで袷せを著るやうに花物にも野菜類にも移り替りが有る、そして彼岸の頃の草花、野菜の種子或は秋植ゑの球根類苗類がある、國民新聞社の勸業部では其の時節に適れて花卉蔬菜のカタログを發表したポケツト入りの美本で、寫眞版で一々其の形を鮮明に現はし培養法を說明して何人にも試みる事の出來るやうになつてゐる、園藝家及び農家の必要缺く可らざるものである、必要な人は往復葉書で東京市京橋區日吉町國民新聞社(園藝カタログ秋季號)として申込めば無代で直ちに送つて來るそうである

たいどころ　その日〳〵

△つけあげ　魚肉の身をすり鉢にてよくすりつぶし其の料の倍程の生豆腐のしぼりたるものを入れてすりまぜ豆腐一丁に玉子一つ位の割り合ひにて割り込み砂糖少許と鹽とを加へすりまぜ麻の實せん人參ささがき牛蒡などを下袈したるをまぜ合せぬれ布巾に薄く小かくのしつけて取りあげ胡麻油の煮立つ中に入れて狐色にあげ一旦紙にとりて皿に盛り別に小皿へ合せ醬油をそへて出す(青木ぱつ子)

商況

東京株式特電

十二日前場

銘柄	寄付	大引
日本郵船	二〇四、〇〇	二〇四、〇〇
京城電氣	[illegible]	[illegible]
同新株	[illegible]	[illegible]
鐘淵紡績	三一七、五〇	三一七、一〇
日本麥酒	一九九、五〇	一九九、三〇
東株第一	―	―
東株第二	―	―
東新第一	―	―
東新第二	―	―
諸株券	―	―

東京債券現物特電

十二日出來値段（前日との比較）

東拓社債、京城電氣、朝鮮銀行、朝鮮鐵道、南滿鐵道　― ― ― ― ―

東京公債直取引特電

十二日出値段（前日との比較）

甲號五分、二回四分、一回四分、五分別發、五分特別　九七、〇〇　― ― ― ―

深川在米特電

十二日現在高　鮮米　三一、六五七　內地米　七一、六四八　盛米　一五七、九三九

東京期米特電

十二日前場

	十一月限	後場
寄付	一五、一五	―
高値	一五、一六	―
安値	一四、九四	―
止め	一五、一五	―

大阪株式特電

類	拂込額	前場	後場止値
宇治川水電	三〇、〇〇	三九、五〇	―
神戶電鐵	五〇、〇〇	五三、〇〇	―
京阪電氣	五〇、〇〇	[illegible]	―
和歌山電氣	五〇、〇〇	[illegible]	―
攝津紡績	五〇、〇〇	[illegible]	―
合同紡績	五〇、〇〇	[illegible]	―
同新株	三〇、〇〇	[illegible]	―
大阪商船	五〇、〇〇	[illegible]	―
日本郵船	五〇、〇〇	[illegible]	―
大阪米穀	五〇、〇〇	[illegible]	―
東京新株	五〇、〇〇	[illegible]	―
大阪株式	五〇、〇〇	三一、三〇	―

大阪三品特電

十二日前場

限月	寄付	引
八月限	五一、〇〇	五一、九〇
九月限	五〇、九〇	五〇、〇〇
十月限	四九、九〇	五〇、三〇
十一月限	四九、八〇	五〇、二〇
十二月限	四九、九〇	五〇、〇〇
一月限	四九、〇〇	五〇、四〇

大阪期米特電

下關期米特電

十二日前場　當限、中限、先限

雜報

十二日前場　寄付、高値、安値、止め

●牛皮の其後　京城皮革界の成立に頓かに色めき立ち牛皮市場も各地の出水騷ぎに伴ひ荷廻り不絕の姿なり當業者の生皮買入れの外殆ど手を束ねて居る有樣なり氣配は生皮一斤四十六錢乾皮中品七十六四見當なるが日の手合にて大皮七十圓に出來せし...

●宗谷昆布不味

京城正米

京城雜穀

南大門の廻穀

●燐寸は昂騰　●新著物は三十六圓　內外の值上　●小麥は絕對不賣　●不足酒手控　●造酒手控

●糯は漸落す　更に賣買行　約三圓方

●綿物類眼先高　越品意外に持

●煉乳一部昂騰　約五十錢方引上

●生果類稍良好　稍々買氣を添へ

●鎭南浦及新幕方　面より少數の著荷

仁川現物市場

△穀入津なし　△正米入津なし氣配は依然安唱へなるも賣物薄の折柄保合ならんとの事　△小麥入津なし氣配保合の唱へ

生魚市場　十二日は引續き仁川物のみにて稀薄なり一般賣行きも良好ならずと雖も荷況は依然として...

確實迅速　仁川海岸町　取引所仲買人　廣瀨三次郎

仁川期米　十二日前場　大阪天候晴天　約二十錢大下　放れの入電二節七十九錢の移り　十一錢安に寄付　大阪四節八十錢　五節八十四錢と引返り

市場寥闃　下放れ跡保合　天候の恢復と大阪安に賣氣益旺盛　洪水と早冷の感ある各地の大極めて其他の事情で能く買向

前場の手振　△前場の手振　三邑仲買店　電話四四五番

▲能く賣る　△大に賣る

仁川米豆取引所

十二日の十一月限

	寄付	止め	高値	安値	出來
前場	十一圓四十一錢	十一圓三十七錢	十一圓四十一錢	十一圓三十六錢	五萬七千六百五十石

平均値段

節	
一節	十一圓三十五錢
二節	十一圓三十五錢
三節	十一圓三十六錢
四節	十一圓三十五錢
五節	十一圓三十四錢

賣買取組高

限月	取組高	前日と比較
九月限	一萬一千八百五十石	八〇安
十月限	一萬四千七百石	一〇安
十一月限	六萬四千七百石	七安
十一日後場	二萬	三安

今回の洪水は實に稀有の事にて之が影響は殊に京畿道の如きは一般に洪水との調べなく被害の程度は...

▲洪水と人氣　前日の市中...

▲大被害の程度　...

▲市場大商盛　▲甚だ一解　▲俄然下放れ　▲人氣益軟弱

▲日能く賣る　▲今大に買ふ　▲下大に買ふ　▲三大商內　▲り大商內

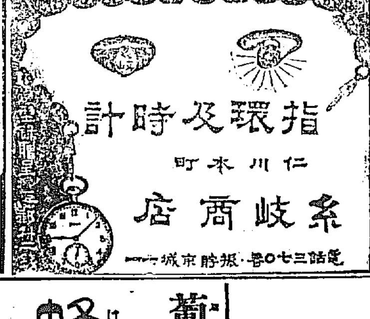
寄付安値に跳返　巨彈一飛　五百石千石　仲買の待ち構へ　大激戰は連日

十六日　同　十七日　同　十八日　同　十八日　同　十九日

▲廣告▼

一千反限り　新柄奇拔　無代女帶地進呈　銘セル

過去五年間呉服類の斷然安賣にて評判を取つた東京日本橋區本石町壹丁目呉服問屋關谷商店にて今回地質丈夫にて柄合の新進奇拔なる一見舶來本毛の品にも負けぬ東京新流行の縞セル一千反限りの投賣を始めたが而も勿驚一反タッタ一圓九十五錢特別上製一反タッタ二圓五十錢と云ふ法外な丸で只の樣な馬鹿値に投出し且賣出し記念として優美高尙なる京阪向新製の新博多女帶地をセル一反の注文每に一筋宛の無代進呈をなす珠算捨た大見切は流石に用途の廣きセル地の事とて日々大賣行を見る所以也因に地方は男女別年齡を記しハカキにて申込は柄合親切に選び代金引替送料も實費で送る由



最上　鶴　醤油
京城府龍山元町
關西商會讓造所
電話三十九番　振替口座京城七三九番

京城地方裁判所に登錄を受く
かつけ病者に告ぐ
かつけふうじ
京城大和町一丁目十番地
京城出張所
委しきは電話千三番へ御照會

活字製造販賣
活版附屬品一式
▼美術印刷を爲すには第一活字の撰擇
▼御得意先を殖すには印刷物の鮮明
▼弊店の特色迅速と確實と廉價
今般弊店にて鑄造販賣致候活字は未だ日淺きにも拘らず各印刷業者の御高評を受け陸續御用命を蒙り候は弊店の深く光榮とする所に御座候猶ほ新規に印刷業御始めの方には御照會に依り特に勉强御相談に應ず可候間多少に拘らず御注文の上御試用被下度願上候
活字製造販賣　印刷機械販賣　各種印刷物
京城本町三丁目廿二番地
竹內商店

●別莊賣却
仁川柳町
土地高燥　約六千坪
建物和洋折衷三構外に果樹二千本　眺望佳絕
仁川山手町二丁目
エ、エ、ウ

葡萄酒と云へば何人も直ちに
蜂印香竄葡萄酒を想起するは何故ぞや？
蜂印香竄葡萄酒には萬人の腦裏に徹底せる强大の特色あればなり
日く品質精良‼美味滋養‼
優良生葡萄酒を素とし補血强壯料を主成分として精製せる本酒は只朝夕一杯づゝにして血を增し肉を肥やし力となる‼
賣捌元　東京本町　近藤利兵衞

內科　胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話一二七九、二〇九番

株式會社第一銀行京城支店
資本金　貳千百五拾萬圓
積立金　九百六拾五萬圓
京城本町二丁目(振替貯金京城一一番)
頭取　佐々木勇之助
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
內地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

宮本武藏

第百五十七回

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

さて富岡の城代三宅藤兵衛、代官中西十兵衛目付越智茂右衛門の兩人、土民のために殺され、猶諸所の寺々を燒拂ひ坊主共は燒殺され、其勢一方ならんといふ注進、之を聞いて大に驚き容易ならん一大事と早速此趣き早馬を以つて唐津の本城へ注進した、寺澤兵庫頭は江戸に在府で唐津には城代家老原田伊豫といふものが留守をして居ります、此原田といふ人物根が善くない男で兀々此男が運上を取立て百姓を苦しめたから一揆が起つたやうなものだが平素から三宅藤兵衛と仲が惡るいから内心大に喜こんで早速天草へ出張して一揆を鎮め、一揆の起つた罪は皆三宅に塗付けて呉れやうと考へましたから右の次第を早速江戸表へ注進に及び唐津の本城に家老年寄番頭を召集め、天草出張の評定に及ぶ此時番頭の岡部四郎左衛門といふ人が 四『今日早打が出立をして江戸表へ參つて其下知を聞いて立歸る、其れまで捨置いては容易ならん事になる急ぎ出張して土民を取鎮めんければならん、併し百姓一揆とは申し乍ら次第に依つては弓鐵砲を用ゐずんば叶ふまい、飛道具は公儀の許しを得なければ用ゐる事が出來ぬ、其を待つ内に土民共他國の領分へ亂入して近國を騒がせる時には當家へお咎めが懸る、されば京都所司代、大阪御城代、近くば豐後府内の代官石谷牧野此御兩所へ御届申して指揮を受けたら宜からうと考へます』と意見を述べた、尤もとあつて原田伊豫から豐後府内へ使者を以て右の次第を申送る、石谷牧野の兩人が之を見ると一揆鎮定のため飛道具を用ゐたいが、江戸表の御下知を待つて居ては時日を費し一大事と相成る、右に就き兵器を用ゐる事御免の御下知然るべく願ふとの文面だ、牧野傳藏之を一見て 牧『容易ならん大事我々が直樣之れを許すといふ事は出來ぬ、一應江戸表へ申し送くつて御下知を蒙むり、其の上でなければ許可は出來ぬ』といふと石谷十藏が 十『イヤ之れは此の儘お許しになつて差支ない、天下の法は法であるが非常の場合には法を破ることもある、一日遲れては一日だけ賊軍の勢ひを増し天下の大事となる時は取返しが付かぬ望みの如く兵器使用の儀を許し遣はし、後日公儀よりお咎めを蒙むつたる時は斯くいふ石谷貞清、切腹して申開きいたす、決して御心配御無用』と言切つた、牧野傳藏之れを聞いて 傳『成程貴公の仰せられる所尤も千萬、若し後日お咎めがあつたら拙者もお交際に切腹いたさう』何も交際で切腹しなくても宜ささうなものだ兹で兵器を用ゐても苦しうないとお許しになつた、此石谷十藏といふ人は後ちに天草追討の軍勢に從つて大功を立て、次で江戸町奉行に召出され、左近將監に任官して慶安四年七月由井正雪の一亂に丸橋忠彌を召捕つて大層評判になつた人でございます、甚だ餘事でありますが石谷左近將監の器量のある御話を挾みました

さて寛永十四年八月唐津より討手として原田伊豫三千人の同勢を引率して唐津より舟に乘り天草島へ押渡つたが一揆の方では豫て支度をして待構へて居た事とて少しも騒がず、芦塚忠右衛門一つの計略を用ゐて原田伊豫の同勢を島子村の西方寺といふ寺へ引入れ、八方から火を放つて攻立つた、何かは以つて堪るべき唐津勢微塵になつて討たるゝもの數を知らず、逃損じたものは猛火に燒かれ宛然阿鼻焦熱の地獄の苦しみ、之を救はんとあつて此處へ乘込んで來た富岡の城代三宅藤兵衛の人勢も亦々土民のために打破られ、原田伊豫に於ては命辛々這々の體で三宅と共々富岡の城へ引上げたが、一揆に於ては大勝利となつて勇氣益々盛んとなり、分捕物は山の如く、此分では天下の大軍押來るとも恐るゝに足らんと勇氣凜々として此勢ひに乘じて富岡の城を乘取らんと口々に呼はる、時に大勢の中より『富岡を攻取つて之に立籠らんとする儀甚だ宜しからず、拙者他に名策あり』と呼はる者がある、何者なるかと一同が見ると年頃十七八の少年であります

九月十四日九星
舊八月十七日　甲寅
水命　七赤　西　取　赤口

▲七赤● 憤慨せざるを得ざる事有る日 新事見合 [illegible]
▲八白● 俸給の日 [illegible] 旅行入門 [illegible] 皆吉物に勝の日
▲九紫● 一利一害の日と雖も新事控目の方吉 [illegible] 盜難は妨なし
▲一白● 親睦の日 [illegible] 行商入學 名出 求職 棟上 婚禮 [illegible] 等皆吉
▲二黑● 心得よき日 [illegible] 職 命 作 入學 婚禮 [illegible] 致命の事を計る等萬吉
▲三碧● 避かれ難き [illegible] の事有る日 新事手控 [illegible] 盜難は妨なし
▲四綠● 得心のゆかぬ事有る日 新事手控 [illegible] 一切のせわ事せぬがよし
▲五黃● 上昇の日 [illegible] 入學等皆吉 男子は職に就き女子は思はぬ良縁を得る大吉祥の日也
▲六白● 思ひ事叶ふ日 [illegible] 旅行 出 漁 求職 命 作 名出 婚禮 試驗を受る等萬吉

りん病
消渇で困る方
多年の慢性もの
自宅にて人知れず安全秘密に治癒する良藥あり只一劑を試よ切手三錢送れ其良藥と自宅療法の詳細を報す
名古屋市南かじや町　武藤亀吉

月やく
なきに御困りの方は郵券三錢封入左記に御照會あれ妙藥知らす
京城黄金町三丁目　山田志づゑ

てんかん
ヒキツケ
病で時々お困りの方
種々の手當も効なく切手三錢送れ永年の病も自宅で人知れず秘密になをす最善の良藥並に之が自療新法の詳細を報す
名古屋中區南小川町東側　救生館

恐るべき梅毒 淋病 治癒良劑
時候の變り目は特に發病す直試よ
梅毒 毒たやし丸 良藥 一名百毒根絕丸
毒多き人少し服用し居れば毒土を引き下げ腸秘を快通し諸毒を排除す
頭痛に罹らざる前に早く用ひ給へ
（一個四日用 金七十五錢 [illegible]）
本舖…名古屋市 [illegible] 小林盛大堂
大阪平野町小林大藥房 東京 [illegible]
全國藥店 [illegible] 郵券不苦

口中を清潔にし精神を爽快ならしめ

化學的に齒を強く美しくする

クラブ齒磨の賣行益々盛ん也

銀河

ヒヨツケタラ鏡をごらん色白くなるゲンソ液
小壜 二十錢
大壜 四十錢
今東京で大評判の白美の元素色黑き顔赤き顔日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに根本的色白く眞の美人美男子となる
全國の藥店小間物化粧品店に販賣す近所に品切の時は代金丈の郵便切手を送れば送品す
東京和泉橋際ゲンソ液本舗　松本商店

御料

御園白粉

淡泊した薄化粧

常平生御家庭に被居る時のお化粧は、淡泊した薄化粧が相應しう御座います。其には化粧水御園四季の花をお顔に塗り、其後で水白粉御園の月をお附け遊ばせ。

水白粉御園の月には純白こ淡紅こがあつて、純白は晝間、夜分又はお顔色の勝れぬ時に、淡紅色をお附けになるこ、ホンノリこ櫻色の美しいお化粧が出來ます。

御料御園白粉本舗　伊東胡蝶園
御料御園白粉發賣元　丸見屋商店

(176)

京城日報

第三版

十三日朝刊 (夕刊と合せて八頁)

本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金七拾五錢 …
廣告料 …
發行兼編輯人 奧田直毅　印刷人 小田三之介
發行所 京城太平通一丁目 合名會社 京城日報社
電話 … 振替貯金口座京城三〇〇番

下關期米特電

▲十二日後場(天氣恢復せしも押目買へ…)

仁川米豆期市場

▲十二日後場 兵庫後寄十四圓八十八錢東京十五圓十二錢大阪前止十四圓八十三錢後寄九十一錢の入電にて寄…

▲(下)能く賣る

宗社黨の將來　京城日報

支那に於て、革命亂等の勃發する毎に、必ず宗社黨なるもの、出現を聞くべしと雖も、其の何の時を問はず、宗社黨が其の目的を達したる事はなく、彼等は忽ち現はれて、忽ち滅する事恰も暗夜の稻妻の如し。然れども其の間にあつては、彼の巴布札布の如き者あるに於ては、未だ必ずしも宗社黨は、絶對に其の目的を達し能はずと云ふを得ざるも、先づ今日の處にては、猿猴の月を捕捉せんとするに似たり。元來宗社黨なるものは、自ら之が命名をなせしに非ずして、淸朝倒壞後、宗廟社稷恢復の活動起りし際、世人は其れ等を目して、宗社黨と稱し、爾來同黨名が、善用され、惡用され、時には浪人無賴漢迄も、之を利用して、梟惡を擅にする事乏しからざるに至れり。

抑も宗社黨の二大首領は、旅順に於ける肅王と、青島に於ける恭王なる事は、何人も知る處なるが、初め淸朝倒壞後、廟議は二派に岐れ、一方は硬派の恭王を以て首領とし、他方は肅王を以て軟派の首領となしたるも、民國創立後、各々其勢力も分裂したり。民國元年春三月、肅王は密使を四方に送り、特に回々教徒をして、蹶起せしめんとし、馬安龍を使はし、之が說破に努めしめ、時の甘陝總督升允、亦呼號して起ちしも、當時の回々教徒は、又た昔の面影なく、百策遂に失敗に歸するに至りぬ。其の際蒙古方面に於ては、流石淸朝發祥の地丈ありて、東部十四盟の結束となり、巴布札布は擧られて其の牛耳を執り、滿洲一圓は特に、宗社黨の深叢となりしも、猶ほ未だ、獨力蹶起するに至らざるの間、第二次革命も、夢の間に過ぎ、更に帝制問題、雲南事件、諸省の獨立となり、結果は袁氏の病沒となりて、之迄幾度も、機を失したる宗社黨は、茲に於て、忽然蹶起を決し、肅王の密旨を傳へんとして、先づ南京に馮國璋を、長江に張勳、倪嗣冲等を說しも、何れも言を左右に托して、遂に起つ者なく、長江方面に於ける、宗社黨の運動は、一頓挫を來したるも、北方に於ては、尙ほ未だ輕視すべからざるものありて、卽ち蒙軍の[illegible]起となりしも、然も同黨の內輪にては、武斷派、文人派の內訌惹起し居れば勢ひ其の一致を缺ぎ、蒙軍も遂に、中途より其の志を飜すに至れり。されど宗社黨が一致して、大事件を惹起せしむる等の事は、萬なかるべきも、滿蒙方面に於ては、尙ほ巴布札布等のあるあれば、未だ必ずしも同黨の蹶起を見ずと云ふ事は出來ざるも、要するに宗社黨の大活動としては、最早滿蒙以外に於ては、之を見る能はざるべし。萬一にして馮、張等の飛躍あらんも、其は先づ以て事實宗社黨の爲に非ずして、所謂宗社黨に名を藉るものなるべし。斯く觀じ來れば、宗社黨の將來も、亦た知るべきのみ。

獨逸の大計畫

戰後各國に於ける染料製造事業全滅策

歐洲大戰亂突發以來獨逸藥品の輸入杜絕と共に我製藥事業の勃興顯著なるものあり且つ主要製藥品種三十餘に垂んとし洵に盛觀を呈し居れるが最近の情報に依れば獨逸に於ては戰後の恢復策として先づ染料會社たるバイエル會社アニリン曹達會社ヘツクスト會社カレー會社其他三會社都合七會社は其資本及び營業の合同を計畫し合同資本一億七千萬馬克となし戰後世界各國に於て製造し得る品種に限り投賣的廉價を以て大々的輸出を試み各國にて製造困難なるものは相當高値にて輸出するの手段を執り以て各國に勃興せる染料製造事業を全滅せしめんとするの計畫を立て七月以來着々準備進捗の模樣也バイエル及ヘツクス兩會社の如き一面製藥をも營む大會社なれば更に進んで一般製藥合同をも協定し染料同樣の恢復的大復讐戰を試みんと計畫なりと云ふ右に關し有力なる本邦某當業者語りて曰く前記獨逸の戰後恢復策たる投賣が果して成功するや否やは講和條件の如何にも關係し若し獨逸が一敗地に塗れたらんには此の計畫も亦當然水泡に歸す可きが現狀又は是以上の戰況を以て講和條約締結せらるれば右計畫は成功し新興せる本邦化學工業の如き一大打擊を受くべきは必然にして豫め事前に於て之が對抗策を講ずるの必要あるは言を俟たず思ふにサルチルサンの如きは四圓の時價なれば製造して相當利益の採算となるべきも戰後に於ては時局前の相場六十五錢見當に崩落復歸するの虞あるに加へて獨逸が前記の如き大々的ダンピングを行ふとせば新興製藥の影響は容易ならざるべし製藥業の勃興せる大阪の如きは幸ひにして何れも前途を警戒し概して小資本の合名又は合資に依り時局中利益を收めんとする一時的の企業多數を占め居れば戰後に於て縱令如上の現象に出會するも打擊は左迄深甚ならざるべきも永久的にして且大資本の會社にありては官民協力前途の對抗策を講究するの必要あり卽ち關稅の引上げ其他政府の保護更に一層を加ふると共に會社側にありては大に結束を鞏固にし之れに對抗する一面會社の株主たるものも亦大覺悟を爲し從來の如く唯々株券より生ずる利益を見るのみ急にして會社事業其物に對する趣味を解せず單に配當の打算株券の値上りにのみ沒頭し從つて會社をして發明又は研究等に支出する經費を節約して配當增加をのみ計らしむるの結果となり却て事業の進展を阻害するが如き態度を一變せざる可らずと云へり(京報)

財界だより

△大阪商船觀測　大阪商船會社は今期約五萬噸の船艦を增加したると運賃率の增加せるため最低限度に見積り前期の配當の三割增加といふ事に略ぼ一致せるもの、如く理事者の口吻によるも今期の八百五十萬圓に對し三割增とせば千百五萬圓にして四割增と見れば千百九十萬圓なり然るに海運通の意見を綜合するに尠くとも前期の四割五分增といふ事に一致し實に今期は尠くとも千三百萬圓の利益は下らずといふ其事情を精査するに商船は郵船の夫れに比して命令航路少く夫れ丈け運賃を引上ぐる餘地ありて單に北米航路のみに就きて見るも左の如く郵船に比しては非常の利益增加を告げつゝあり隨て同社が郵船の配當如何によりて定まる問題なるが郵船は二割五分乃至三割との事にして而も拂込を徵收して妥協せんとするもの、如く商船も同社との均衡上最低二割二三分若くは二割五分迄增配を決行する事となるべく拂込は全部徵收して增資の機運を進捗し例の戰後の五年計畫を樹て以て大發展せんとの事なれば同社が千八百五十六萬圓の資本金に對し積立繰越千四百十四萬圓を有し拂込資本に對して七割六分となりこれ丈にても年五朱の利益を擧ぐべく昨年下半期は四百六十萬圓の積立と三十六萬圓の繰越合計金五百萬圓にして下半期は素より五百萬圓を下る事なきを以て以上合計せる積立金繰越金の利率のみにても年六朱見當とすべく新造船は船價の未だ騰貴せざる時に於て十三隻七萬三千噸を大正七年迄注文し一方姉妹會社たる大阪鐵工所に於て年間二萬五千噸の注文をなして之に備へ船價の如きは船價を度外して二千百七十餘萬圓の船價に對し減價償却八十二萬八千圓の積立百五十萬圓ありて一噸當り九十六圓七十錢となり(前期百六圓四十錢)前期に比し九圓七十錢方を引下げられ今や八百七十萬圓の預金三十萬圓の現金計金九百六萬圓を所有し前期は百五十萬圓の利益を擧げたるに二百萬圓を社外に分配したるのみにして戰爭が來年一杯持續するとせば戰後尠くも兩三年は海運業の盛況を來すべく機會にして多少の競爭はあらんも戰後膨脹する機會に於て同社が長足の發達をなすこと火を睹るより明にして郵船に對すれば日露戰後は五十圓の佑貼ありしのみならず其後は內容頗る充實し健全なる發達をなしつゝあり而して今や郵船命令航路と商船自由航路との運賃增率比較を見るに左の如く增率し且つ其他の航路增率步合をも列記すれば

北米航路(ピユゼツトサウンド線)(右は命令航路左は自由航路)

	大正三年七月(弗單位)	大正五年七月
	五、五十	六、五十
茶	五、五十	六、五十
	六、五十	六、八十
陶器	六、五十	六、八十
	七、〇〇	七、八十
雜貨	六、五十	七、五十
南京豆	六、〇〇	十四、四十

其他も非常の增率にして孟買航路は一二割天津航路四分乃至一割大連航路六分より三割三分等の增率を示しつゝあれば今期は尠くとも千三百萬圓配當二割二三分は爲す可しと期待せらる

△米國航路前途　今や米國航路は往航の殷盛時代にて本邦よりは茶生絲の輸出頗る盛んなり在米邦人ホノル、在住邦人の如き歐亂の好影響にて所得金多く爲めに一般に購買力盛んなる結果本邦製雜貨陶器類の賣行き侮り難き趨勢を示せり十一月の候ならば彼地よりは米棉の積取に多忙を極むる外本邦各製鐵所よりの注文にかゝる鐵材の輸送殷賑を極むるに至るべく且つは露國行鐵道貨車の輸送には尙且本邦船舶によるもの多かるべきによりて來年一月にかけてます／＼同航路の殷賑を來すべく觀測せらる

△製布社の計畫　日本製布會社は時局以來業績頗る順調なるを以て社債を發行して借入金九十九萬圓及び現社債五十萬圓を償還せんとの議重役間に於て內定し遠からず發表するならん(大阪支局)

日報詩壇

成田 魯石
龍、[illegible]、枝、[illegible]。君、[illegible]滿地俗塵疎。
華○在○手○徐○移○[illegible]○杉○淸○風○亦○讀○書○。
評曰 幽靜絕塵

○同上　高田 小芥
稀、禮、石、上、聚、陸、涼、巢、鶴、夢、醒、時、一、聲、啼。
到○陸○釵○綺○若○錦○敗○行○字○面○不○分○明○。
評曰 心細筆巧

○同上　齋藤 三寅
愛、開、不、願、太、夫、封。漫、伍、焉、魚、跳、壯、胸、夕。
日○欲○春○移○柑○庭○聽○有○蹄○影○似○蚪○龍○。
評曰 又是隱影不動

○曝書　高田 小芥
日○午○晴○樓○曬○舊○魚○亂○堆○書○册○散○芸○盧○香○。
時○句○讀○寒○窗○在○媿○又○先○人○手○澤○存○。
評曰 觸目皆情、令昔之感寫得深

○題觀瀑圖　森下 半狂
老、樹、奇、巖、牛、大、倚。一、條、飛、瀑、迸、雷、聲、餘。
中○廳○掃○人○間○熱○三○伏○石○來○動○我○情○。
評曰 詩語吐玉雪、淸冷可誦

○園居夏夜
田○嬢○田○畝○是○吾○家○綠○樹○煙○橫○呼○晚○鴉○。
日○晴○耕○今○[illegible]○月○光○涼○處○割○新○瓜○。
評曰 能得田園趣味、石湖流亞

○曹谿禪房小集　齋藤 三寅
來、叩、禪、扉、復、忘、回。滿、山、禪、是、當、詩、材○。
商○攬○月○更○岑○寂○暖○氣○香○烟○去○又○來○。
鷲、嶺、空、林、不、住、塵。松、聲、鳥、語、爽、吟、神○。
最○講○界○無○量○樂○半○日○來○爲○世○外○人○。
評曰 二首幽絕、淸絕、後首後半殊可誦

日報歌壇

藤村弘花(京城)
穴を掘り穴に灯ともし住みなんかかの太陽は見るもの憂し
寂しければ晝のひなかに灯を點し夜の來たらんをひたすらに待つ
わが命闇に螢の光るよりいや寂しくも醉ひそめしかな
いとはしきわが世に心そらむきてひとり洒くむ夕べなりけり
(煉瓦燒場にて二首)
一すじの煉瓦燒場の煙いつかわが悲しみとなり陽の空に行く
白光る陽にもかゞりて煉瓦燒く煙はのぼる丘のまひるを

石花島たかし(京城)
白雲のゆくわはいづこはろばろと彼の雲波にまよふ白雲
ひぐるまはめでたし夏の日の入日さす窓にくる／＼輝き居るも

小谷非寵(京城)
天眞にかへるなるらし降り注ぐ白雨の强さに心すくめり
夏の灯にかやつり草をつりてみし我が思ひ出の幼かりける

◎書籍案內◎

時務一家言 (德富蘇峰著)
政治家としての桂公
蘇峰文選
大正政局史論
獨逸經濟的勢力
孫子諺義
聖教要錄
日本書紀
白隱和尙遺墨集
大將乃木
乃木大將
朝鮮鑛業要覽
酒餅論
月江和尙語錄
宇考正誤
元田先生進講錄
世界名婦鑑
不如歸
歷史の片影
外交奇譚
自然と人生
靑蘆集
靑山白雲
縮刷思出の記
思出の記
探偵異聞
俳諧師
豐太閤
八軒長屋
同後編
同續編

國民叢書

社會と人物
生活と處世
處世小訓
人物世評
教育小言
近時政論
讀書餘錄
第二天然と人
第三天然と人
日曜講壇
第二日曜講壇
進步乎退步乎
人物管見
靑年と教育
靜思餘錄
文學斷片
天然と人
第二靜思餘錄
風雲漫錄
家庭小訓
經世小策(上)
經世小策(下)
單刀直入
寸鐵集
文學漫筆
漫興雜記
世間と人

京城太平通壹丁目
京城日報代理部
電話長六六〇番 振替貯金口座京城三〇〇番

臨時土地調査局測量・陸地測量部發行
五万分一朝鮮地形圖
東京麴町區隼町
全國一手販賣元 小林又七
電話番町二六二九番 特話番町三九八〇番 振替東京二九六番
朝鮮荷捌所 同朝鮮出張店
龍山漢江通六番地
電話二五〇二番 振替二五〇一番
陸地測量部御發行五萬分一圖五百六十枚一枚七錢五厘郵送料五枚迄二錢 土地調査局測量二色刷五萬分一既刊五十四枚一枚十錢郵送料五枚迄二錢
前金の外發送せず照會は必ず返信料を要す◎代理店に品切等の節は東京本店又は荷捌所たる龍山出張店へ御申込を乞ふ◎地方に販賣代理店を募集す

代理店所在地
釜山 吉田市次郎
同 大阪屋號書店
馬山 土井又平
晉州 淸水佐太郎
大邱 小西伊兵衛
金泉 立川音五郎
光州 角田貞雄
羅州 澤井政之助
木浦 加藤光三
全州 寧吉眞左太
群山 牛尾政一
公州 木村勘次
同 大西伊與市
大田 鈴木喜一
江景 河本甚吉
鳥致院 酒井俊三郎
淸州 袴田讓
忠州 宇野伊三郎
同 原口一二
鎭海 古村朝光
浦項 白石和三
尙州 遠藤豐造
安東 河野猛
慶州 高田兵藏
密陽 前川恒二
蔚山 福島龜太郎
統營 竹內唯雄
榮山浦 中原佐平
裡里 草ケ谷英之助
京城 町田文次郎
同 大阪屋號書店
水原 青木爲一
開城 平野源太郎
永登浦 母袋米作
仁川 町田文次郎
春川 河野元七
海州 島田幾藏
鐵原 木村流子
平壤 脇坂喜之助
鎭南浦 日高梅吉
義州 鈴木運次郎
新義州 島田德之助
元山 芝田辰治
成興 玉置省二
同 長谷川長藏
羅南 高橋愛治郎
鏡城 森下滿藏
會寧 小池奧吉
淸津 玉置榮太郎
城津 藤谷市作
通川 赤羽春次

ラパロイド
米國紐育スタンダードペイント會社製
最上毛製屋根葺用
朝鮮總代理店
京城本町二丁目(電話長四五番、二七七四番)
藤本藤次郎本店
振替貯金口座京城二五六番

文學士寺田精一先生監修
トモダチ
○おまちかねの十月號出來 毎月一回發行 ▽一册十二錢稅五厘△ ▽六册郵稅共七十錢△
○教育的の美しい變り繪は幼年諸君の大好評
手工附錄ハヤガハリパカセは興味無類
東京麴町富士見町 二葉社 振替東京參萬參六參番 電話番町四〇五八番

購買入札
石炭壹千四百噸
右購買ス詳細ハ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
大正五年九月十三日
朝鮮總督府

新刊書御案內
書名	著者	定價
眞宗全史	村上專精	三、〇〇
櫻井全集第六巻日記及消息	[illegible]	一、五〇
南進策と小笠原群島	山田毅一	一、五〇
時は過ぎゆく	田山花袋	一、二〇
東方調劑自療寶典	富士川游	五〇
日本住宅と諸什器取扱法	杉本文太郎	二、〇〇
漢文讀	山岸輯光	六五
成金物語	千原伊之吉	一、四〇
株式閑語	五十嵐力	一、二〇
夜の露臺	竹久夢二	九五
坐禪指南	芦津實全師	八〇
啄木歌集	石川啄木	七〇
男讀むべからず	丹いね子	七五
大ナポレオンの妻	永代靜雄	六〇
雜香の中	土岐哀果	六〇
分數の新しき解き方	[illegible]	五〇
絕島探檢十五少年物語	[illegible]	五八
受驗必携法律講義	坂上輔吉	特七五
同 法律問答	同	四〇
同 朝鮮行政法規大意	安達大壽計	四〇
同 會話譯文速成	同	四〇
同 作文軌範	同	四〇

京城本町 大阪屋號書店 電話六八四、二〇八六 振替京城二五七二

蠶繭屑物賣買業
京城府龍山漢江通八番地
河原壽夫商繭絲店
電話(龍)四三三番

ヒノミルク
坊ちやんや嬢ちやんの一番おすきなものは?
到る處食料品店洋酒店にあり

品質の優秀は
最後の勝利を獲得す
絕對の信用を博し
醇酒 忠勇
宮內省御用酒御釀造元 攝津灘新庄家 若林合名會社
特約店 京城本町三丁目 山本富之助商店 電話五七五番

電話開通
電話一七五五番
多少に拘らず迅速に御屆可申候間御用命願上候
京城本町二丁目(京城銀行前)
石鹼製造卸小賣販賣 (金)奧野商店

三線聯絡運賃問題(二)

經濟研究會に於ける 鐵道局和田參事口述概要

二、關税及直通運賃の減額(續き)

之を實際に徴するに、大正元年度に於ては朝鮮經由の綿糸布僅々二百餘噸に過ぎざるもの、大正四年に至り爲に一萬五千噸を算するに至れり。次で減税制度と相俟て、滿洲に於ける綿糸布其他の日本品の販路を擴張せむが爲、日滿間直通運賃低減の議あり、滿洲に輸入せらるゝ綿糸布に付ては、或は日本品は全輸入數量の半以上を占むと爲すものあり、或は約三割に過ぎずと認むるものあり。戎克船に依る輸入數量不明なる爲、推定數量區々に亙るを免れずと雖も、要するに綿物の輸入數量は英米品に及ばず、太物に付ては支那土布の浸觸を受けむとしつゝあること否定すべからざる處なるを以て、鐵道院及び朝鮮鐵道は其の運賃を低下し、尚南滿鐵道に對しても安奉線運賃を低減せむことを希望し、大正二年三月鐵道院に於て之に關する三鐵道代表者の會議を開催したるも、南滿鐵道に於ては海港運賃主義を打破せらるゝの故を以て之に應せず、同年十月京城に於て鮮滿兩鐵道當局者會合の上、奉天以北より內地に至る大連朝鮮兩徑路の運送費を同額とせむことを企圖したるも、其の後鐵道院に於ける三鐵道代表者會同審議の結果、海路運賃不定にして到底實行困難なる故を以て實施の運に至らず、別案として安奉線經由の主なる貨物十七品種に對し、同線の運賃約三割を減ずることゝし、翌三年四月より實施のことに協議を了したり。然るに實施前に至り南滿鐵道は其の實施を肯せず、三年四月又復三鐵道會議の結果、十七品種を綿糸布外十品種に改め、且其の有効期間を一年とし、期限經過後三鐵道の協議に依り、變更し得るの條件を以て、同年五月より施行することゝ爲せり。然るに之れが實施に當り、大連及び營口に於ける實業家の強硬なる反對あり、爲に南滿鐵道より亦々管理官たる鐵道院に對し、大連營口經由運賃の減額を申請し、其の認可を得ざるや臨時割引の名を以て兩線運賃の低減を決行せり。其の後種々の曲折を經て遂に直通運賃は各徑路共減額し、地方貨金亦一割五分を限度として割引を爲し得ることに決定せり。又一面獨、英兩國よりの交涉により、外國より營口大連を經て滿洲奥地に直通する貨物に付ても同樣の取扱を爲すことゝなれり。茲に於て當初の目的は豫期の如く其の効果を收むること能はざるに至り。而して本制度は其の後一ケ年間延期せられ、期限到來するに當り、南滿鐵道に於ては其の撤廢を希望せるも、朝鮮鐵道に於ては海港運賃制度に依る壓迫より脱せむとし、啻に北行十二品種の減賃に止らず、進むで各品種に就き、南行北行共從來の如き偏重偏輕の運賃制度を廢し、兩徑路共其の自然の發達に委し、全然開放的の運賃を制定せむことを希望し、依て運賃制度の原則に從ひ、兩徑路共各其の距離に應じたる運賃を課し、以て貨物の海路に依り、陸路に依るべきは陸路に依らしむとの提議を爲し、再び東京に三鐵道代表者の會合を見るに至れり。

立太子禮諸儀式

皇太子殿下には來る十一月三日を以て賢所大前に於て立太子式を行はせらるゝ事に御決定相成りたるが其の大儀前後に於て行はせらる諸儀式は左の十儀式なりと申す(東京特電)

賢所皇靈殿神殿に奉告の儀
伊勢大神宮に勅使差遣の儀
神武天皇山陵並に明治天皇山陵へ勅使差遣の儀
伊勢大神宮に奉幣の儀
神武天皇山陵に奉幣の儀
明治天皇山陵に奉幣の儀
賢所大前の儀
賢所皇靈殿神殿に謁するの儀
參內朝見の儀
宮中饗宴の儀

支那側の回答來る

鄭家屯事件に就き夏外交次長は十一日午後我公使館に林公使を訪問し支那側の回答書を交付せる上約二時に亙りて公使と懇談退出せり(北京特電)

都督府對張督軍通告

交戰禁止區域內馬賊討伐に就き

關東都督府は支那軍が交戰禁止區域內の馬賊團を討つは勝手なるも相互の誤解より日支軍の葛藤を惹起せざる樣責任を以て適當の方法を執る可き樣張督軍に通告せり(奉天特電)

蒙軍無事

佐藤混成枝隊の斡旋頗る攻妙を極め包圍の裡に在りし蒙軍無事なるを得たり(奉天電報)

獨逸對支要求

獨逸は支那政府に對し漢口に於ける獨逸租界の擴張を要求せり(上海電報)

露支交涉顛末

參議院にて報告

十一日參議院秘密會に於て政府側委員は議員の要求に依る外蒙古議員問題に就き露支兩國交涉顛末を報告せり(北京特電)

蔡鍔來著

支那第三革命の驍將蔡鍔氏は十二日神戶入港の伏見丸にて來著せるが氏は喉頭結核の病を福岡にて養ふべく十三日正午香港丸にて同地に向ふべしと(大阪特電)

▲危篤か 福岡病院に入院加療の爲伏見丸にて渡日せし蔡鍔は病狀急變し危篤に陷れりと傳へらる(上海電報)

獨逸動員兵數一千萬

其の筋に達したる情報に據れば、一昨年歐洲戰爭開始以來獨逸の動員召集したる兵員總數は一千萬人にして此の中使用せるものは三百五十萬人にして現在尙ほ百九十九個師團を保持し居れりと(東京特電)

英軍勃軍を攻擊す

巴里來電に曰く、英軍はストルマ河を徒涉し希臘領マゼドニアに於ける勃軍を攻擊しつゝあり(紐育電報)

羅都へ進擊

勃軍六十哩に近づく

勃牙利軍は羅馬尼首府ブカレストの東方六十哩の地點なるシリストリアを占領しブカレストを目標として進擊を續行し居れり(紐育電報)

ソンム捷報

英軍はソンム方面のギンシーとコムブル間に於て獨軍の前哨塹壕線を占領し佛軍は白耳義の一部分を奪還したり(桑港電報)

閑院遣露宮殿下

十二日朝大阪御通過

閑院遣露宮殿下には十二日朝桃山御陵に御參拜同八時三十分大阪驛御通過御西行遊ばされたり(隨員)

▲安達公使は曰く 我が皇室より露國皇室へ御贈進遊ばさるゝ品は種々あり殿下は長春に御著の上露國宮廷列車に召さる可し露都には九日間御滯在遊ばされ夫れより莫斯科に赴かせ給ひ十月十六日には是非東京に御歸還遊ばさるゝ御豫定なり殿下は佛語に御堪能に在せば御便宜多き御事と拜察すと(大阪特電)

露藏劵應募高

露國大藏證劵應募高は既に一億四千萬圓に達せり(東京電報)

三線問題と世說

日鮮滿三線連絡運賃改正距離比例制の施行期を延期し根本的に本問題を研究調査する爲結局現狀維持に決すべしとの說高し(東京電報)

與黨合同

擧式準備に着手

政府與黨三派合同大に進捗し同志會を中心として各派とも合同擧式に關する準備に著手し極力中正會及び公友俱樂部內の非合同派議員の勸誘に努め居れるが目下の所合同加盟議員總數百九十六名なり(東京電報)

▲別報 與黨合同參加確定者は中正會は二十三名公友俱樂部は廿二名同志會は百五十三名也と(東京電報)

內閣定例會議

十二日は閣議定日に付大隈首相以下各大臣は午前十時より相前後して永田町首相官邸に參集し暑中休暇後第一回の閣議を開き石井大島兩相より外交及び滿洲問題に關する經過の報告あり終つて內外政務に關し協議し午後二時散會せり(東京特電)

佐藤大使赴期

駐米特命全權大使佐藤愛麿氏は十六日午後一時十分東京驛發同三時横濱解纜の横濱丸にて赴任に決せり(東京特電)

日進春日歸著

某重大任務に服し居たる帝國軍艦日進春日二艦は十一日大湊に到著せり(東京特電)

米鋼鐵王發期

來朝中の米國鋼鐵王ゲーリー氏夫妻一行は十三日退京横濱に一泊し翌十四日同港解纜のエムプレス、ルシヤ號にて歸國の筈なり(東京特電)

朝鮮支廠

明年度內に竣成

陸軍省が大正六年度豫算に計上せる新事業は大藏省に於て査定の結果大斧鉞を加へたるも朝鮮に砲兵工廠支廠設置の件は財源を工廠從金に求むる爲め容易に大藏省の容認する所となりしが該計畫の內容は總計費約四百二十萬圓にして大正六年度內に竣成せしむる豫定にて大阪砲兵工廠の支廠として製造すべき品目は大砲に關係ある部分のみなりと(東京特電)

寺內總督入洛

寺內總督は目下京都に滯在中なり(大阪特電)

財部中將

財部海軍中將は商船啣衛丸にて十二日門司出帆歸任の途に就けり(門司特電)

初霜

京元線洗浦にては十二日朝初霜降りたり例年に比し三日早し(元山特電)

赤愛の奉迎送

日本赤十字社總裁閑院宮殿下來る十四日朝南大門驛御通過の際は赤十字社朝鮮本部職員、特別社員以上の有志並に愛國婦人會朝鮮本部役員は何れも南大門驛內所定の位置に付奉迎送を爲す事となりたるを以て右奉迎送者は各自禮裝して殿下御著驛二十分前參集す可しと猶ほ釜山、大邱、大田、開城、平壤、新義州等重なる御通過驛にても右に準し奉迎送を爲す可しと

學生の奉送迎

閑院宮殿下南大門驛御通過の際同驛にて奉迎送を爲す可き學校及び生徒數は京城專修學校十五名東洋協會植民專門學校京城分校二十四名京城中學校本校八名養成所三十五名京城高等普通學校養成所二十六名師範科十六名附屬二十名西大門小學校高等科二十名合計二百三十六名にして學校長及び舍監は生徒に附添ひ奉送迎を爲す筈にて午前八時三十分迄に同驛プラットフォーム指定の位置に指定の順序を以て整列奉迎送の筈猶ほ善隣商業學校生徒及び元町小學校生徒は龍山驛に於て奉迎送を爲す可しと

定例長官會議

十二日は定例長官會議日なるより山縣政務總監以下各部長官、局長、主要所屬官署の長等は午前十時より總督府第一會議室に參集、主要政務に就き協議打合せの上正午散會したり

黃海道新米

黃海道に普及せる早稻米種亞租は南鮮地方に比し其の收穫約一箇月早く道內農民亦早籾の要求を恐れて其の鎌入れを急ぐになるが本年も既に走りは約十日以前南浦商人の手を經て大阪に送りしが本月末迄に黃海新米は續々市場に出で來るべしと

鑑定價格變更

京城稅關出張所にては來る十六日より左の如く鑑定價格を變更實施する由

大豆上	一石	七圓一七	小麥並	一石	六圓四六
同 並	同	六、五二	胡麻	百斤	六、七五
小豆上	同	八、〇七	小麥上	一石	七、〇〇
同 並	同	七、四〇	牛皮は從來の通り		

上南水利認可

慶尙南道密陽郡上南面中禮林里、岐山里、淵今里、平林里の各一部に跨れる上南水利組合は九日附を以て其の設置を認可さる

元永航路の廢止

九月廿一日より文川永興間鐵道營業開始に伴ひ朝鮮郵船會社の元山永興間航路は自然其の繼續の理由を減少するを以て廢航とする由

京城商議總會

分科制度可決す

京城商業會議所にては十二日午後一時より臨時總會を開きたるに出席議員十八名原田會頭議長席に著き先づ役員會に於て決議したる分科制度設置の件につき協議せり提出の原案に對しては滿場一致にて左の如く決し同時に各部委員長及び委員を會頭より囑託して三時散會せり

▲商業部 委員長釘本藤次郎、委員古城梅溪、石野熊一郎、篠崎半助、金誹然、廣江澤次郎
▲工業部 委員長關繁太郎、委員佐野彥藏、小谷淸、高木德彌、首藤定、増田三穗、藤田安之進
▲金融部 委員長韓相龍、委員白完爀、金漢柱、洪段柱、林茂八郎、鍋島宇吉、唐川立造
▲運輸部 委員長林田金次郎、委員岡正矣、河村千次郎、谷口小次郎、池田長兵衛、志岐信太郎

▼京城商業會議所分科規程

第一條 本會議所は事務の敏活を圖り會議所本來の機能を發揮する爲左の四部を設け評議員を以て委員とす
商業部、工業部、金融部、運輸部
第二條 各部に委員長を置き常議員各一名を以て之に充つ
第三條 委員は所屬部門に關する狀況を調査し會頭の諮問又は特に委任せられたる事項ありたるときは委員會を開き之を處理し所屬部門の改善發達に切要なる意見若は方案あるときは委員會の決議を以て之を役員會に提出する事
第四條 委員會は會頭の承認を經て各部委員長之を招集す
會頭、副會頭は各部委員會に參與するものとす
第五條 委員は會頭之を囑託す

宇都宮視察團入京期

宇都宮商業會議所主催の新滿實業視察團の一行約二十七名は來る十九日午前六時二十六分京城に著し市內の各商工狀況及び名勝地を巡覽し二十三日午前九時十分發にて北行すべしと

船渠會社發起人會

仁川

仁川船渠會社發起人は十二日午後八時より山手町仁川ホテルにて發起人會を開き種々懇談する所ありたりと

▲今野淸氏(土木局技師)十一日忠淸北道に出張
▲宋秉畯氏(子爵)十一日夜金村より歸京
▲趙東潤氏(男爵)同上
▲李載克氏(侯爵)同上
▲平山廣氏(二等軍醫)十二日夜入京不知火へ

南吉北語

希臘では親獨派が荒れに荒れ出したらしい▲協商國外交官會議の席へ大勢で侵入して拳銃をピヅッ放して居る▲之れでこそ息入れる力も出兼ねるのだらう▲此の上は最う協商國でヨロヨロした腰を抱へて無理にでも起たさなければ顏が立つまい▲此方でエッサモッサ騷いで居る內に勃軍は最う羅國のシリストリアを占領した▲シリストリアと云へば首府ブカレストの東方僅に六十哩の處に在る▲斯うなつて來ると羅國が又た騷ぎ始めて親獨派がムクムク頭を持ち上げて來るかも知れぬ▲此の樣な約束ぢやなかつたと云つた處で最う追つ付かぬ▲何だか妙に羅馬尼の價値も變になりはすまいか此の所聊か心配無きにしも非ずだね▲故袁氏の埋儀は頗る淋しかつたが其の日長男の克定は財產問題から諸弟や族人等と大衝突を起し▲結局各々部下を率いて銃槍などで決鬪を始め▲之を鎭めんとした徐世昌老人迄克定に毆たれて逃げ回つた相な▲次子の克文は態々葬儀に列すると短銃で擊たれて儀式の濟まぬ內に逃げて歸つたゲナ▲其れから叔父某も傷けられ克定と第四子とは格鬪をやつて相方血塗れとなつた支那新聞は面白氣に書てある▲地下の袁氏も之れでは瞑目する事が出來まい▲愚息を持つた親程可愛想なものはない▲が之れも親の祟りが子に酬つたのかも知れぬヤレヤレ▲東京在池袋に有名な豫言者が居て海軍の秋山少將や陸軍省の高官連や政友會の床次君なども其の信者だ相な▲處が先日歐洲戰爭の將來を豫言して曰く『此戰爭は五箇年間續く▲そして來年の今頃は日本と或大國と干戈を交ゆる事が起つて日本が國民軍全部を戰線に送らねばならぬやうになる』と▲此奴は何うかして此の豫言が當つて[illegible]くないものだナア

仁川築港工事

仁川築港工事は[illegible]
……岸に接する附近の下水渠工事等にて閘門工事は來年十一月頃迄には終了……ば潮位干滿の差三十三尺、埋立面積八萬七千坪船渠內面積三萬坪船渠內……堤延長三百三十三間浚渫面積十二萬六千坪なりと(上册)
……間僅か三分間に過ぎざりしが直徑五……寸の雹……
……の雀を拾ひ集めたる者又或は旅人にして打撲傷を受けたるもの多く而し……
……て郵便遞送中官金八千七百圓を窃取されたるが國家の代表者池田遞信局長は……を代理とし……
……東萊溫泉場間の電鐵線路數箇所の損失したる爲め當日より釜山溫泉場間は交通杜絕したるが其後復舊工事を……
……丸より上陸客……

銀行會社 官吏鐵道員 養成 講義錄
卒業者は各自希望通り東京は勿論全國へ直に就職せしむ
速成四ヶ月卒業會費二圓八拾錢 校則進呈 東京芝公園 大日本國民通信學校

日韓書房 新版報告
博士全集第六 増補縮刷 日記及消息 定價一圓半 送料十二錢
朝鮮總督府 普通文官 見習雇員 試驗問題及解答 定價六十錢 送料六錢
堀七藏著 兒童疑問 日常の化學 定價八十五錢 送料十錢
堀七藏著 兒童の疑問 人の身體 定價一圓 送料十二錢
堀七藏著 兒童疑問 理科の智囊 定價八十五錢 送料十錢
京城本町二丁目

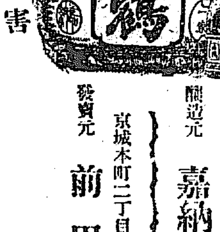
早稻田大學 學生募集

大學部					專門部		高等師範部			
高等豫科							第一部			第二部
政治經濟學科	法學科(獨法、英法)	文學科(哲學、英文學、史學及社會學)	商科	理工科(機械、電氣、採鑛、建築、應用化學)	政治經濟科	法律科	國語漢文科	英語科	數學科	理化學科
大學部三ヶ年 高等豫科一ヶ年半				(四團に分つ)	三ヶ年		本科三ヶ年 豫科半ヶ年			三ヶ年

專門部各科第一學年 中學程度諸校卒業生は九月中無試驗、その他は九月二十日(水)午前八時入學試驗(中學校卒業程度)
高等師範部各科第一學年 九月二十日(水)午前八時編入試驗(第一部豫科修了程度又は第二部第一學年第一學期修了程度)
高等豫科各部第二期 九月二十日(水)午前八時編入試驗(高等豫科各部第一期修了程度)
願書は總て九月十八日限り、詳細は本大學各部事務所宛照會のこと、規則書は郵券三錢封入請求のこと

朝鮮語會話
再版賣切れ三版大增補發賣
朝鮮總督府屬 普成法律商業學校講師 西村眞太郎著
定價金八拾錢 郵稅六錢
受驗者必携の資料●補珍總クロース四百頁頗美本
江湖の大歡迎大好評を受けたる本書は今や再版壹萬部を賣盡して尙要求盛なるに至れり朝鮮語の智識は本書に說き盡して餘蘊なし特に受驗者に採りては最も親切なる解說者たり是非共一本を机上に供へられよ
發行所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部
大取次 大阪屋號 日韓書房 巖松堂 各地支局書肆

かつけ病
しびれ、はれ、難治の脚氣病も忽ち効能偉大なる家傳の靈藥あり弘く同病者へ告げ分與す御困難の方は往復端書で申越あれ詳報す
兵庫縣美嚢郡淡河村下村 藤本初三郎

大日本優等清酒 ハクツル


品質純良 衛生無害
醸造元 攝津灘御影町 嘉納合名會社
發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番

內科 小兒科 多々見醫院
京城日出小學校前 入院隨意 電話九四〇番

…中なる…間長千間の閘門に附…なりし爲めなるが昨今漸次…隨せる工事及び浚渫工事の一部船舶…つゝあれば期月迄には竣工すべしと航路にある巖石の碎巖工事幷に舊海…今一期に屬する工事計畫大要を記せ
…揚場石垣…長三百九十八間…六十…呎閘門延長五百四十一呎船…渠外物揚場石垣延長二百零五間、…
…日本…派出員…盤部に達せる報告によれば…間島地方に颶風及び降雹あり降雹時…るもの…
…の十餘頭…雀の死したる夥しく一人にして二百餘羽…
既報大邱郵便局遞送受負人大邱元町大野峰次郎が浦項慶州及び大邱間に…

軍司令官々邸宴會場スケッチ

秋花咲ふ置酒の間
軍司令官々邸＝秋山將軍の披露讌

◇天高く氣清うして秋は漢陽を訪る、事繁き九月十二日午後四時より英氣爽爽たる秋山好古將軍は朝鮮駐箚軍司令官として着任せる披露茶宴を張るとて京龍在住外國領事團及び文武官民朝鮮貴族等

◇二百七十餘名を龍山官邸に招待す、此日定刻近くなれば掃き清められたる官邸の正門を潛り入る自動車、馬車、人力車或は徒歩の紳士淑女觀光繽紛燦として踵を接したるが邸內は第一、第二應接間及び玄關を入れる

◇廣間を控へ室に開放して卓子を据ゑ椅子を配し客の談論須臾なるに定めの時となりしとて白水參謀長以下軍副官、參謀等夫々客を奥の大廣間を以て當てたる會場に案內す。廣間には白帛を以て蔽へる

◇卓子長く三條に連ねられ卓上既に置酒盛肴諸所秋花咲ひつゝ客を待てり文武官混淆して卓を圍んで立てば僮子は盃を盈たして美酒を配し軈て談笑裡に立食開始せられしが主人の將軍は

◇威風堂々として軍服の胸狹き迄に佩びたる勳章を燦々たらしめつゝ簡單なる挨拶を爲して一同と共に盃を擧げ客の健康を祝し之れに對して李完用伯賓客を代表して復簡單に此日の招待を謝し同じく

◇擧杯將軍の健康を祝し懇くて此處にも彼處にも榮ある勳功を祝ぐ談笑の聲高く此間將軍は盃を手にして卓を廻り談笑を撒き主客歡を盡したるが午後五時とも成れば更に別席にて煙草の煙を吹き遣りつゝ

◇暑の早きを喞ちあひつゝ午後六時近き頃邸を辭し去れり十三道の秋や是れより安からまし

もう大丈夫
▽鐵線を手繰って▽鐵橋假修理は三四日
進行した修理工事

十二日の朝安養驛を出發する時稻垣工務課長を訪ふて線路の開通時期を尋ねると今のところ確實な時期を答へ兼ねるが安養川の鐵橋を除く他は動く共十二日夜までには完成する見込、安養川は一時河船をもつて徒歩連絡を圖る積りであるとのことであつた、驛の北側の崩壞した

◆築堤三百尺 は一夜の間に軌道が移設されて土砂を運搬する人夫は長蛇の如き列を成しつゝ働らいて居る、と見れば右手に聳ゆる冠岳山の麓と鐵道線路の間にある栗林には出水後の慘憺たる光景を遺し左手の畑には押倒された高粱や泥をかぶつた西瓜のゴロ〳〵轉つたのが見られる、線路づたひに

◆安養川鐵橋 に差かゝると兩岸には朝鮮人や支那人の人夫がわめき叫むで頻りに架橋工事に奔走して居た、對岸の北側には冠岳山の山の端が突出して如何にも水勢の岩に激し易き地勢である、可憐相に鐵橋は安養川の水勢に一たまりもなくへし曲られ蛇ののたくつたやうに河中に首を突込むである、函のやうな

◆鐵板の橋梁 は其の側に横臥して容易なことでは起きさうにも見えね、對岸の支那人夫は頻りに大きな聲で叫むで居たが見る間に鐵線を手繰る筏は兩岸を往復し始めて長い丸木が運ばれ出した間組のはつぴを著た親分らしい人が澤山の人夫を指揮しながら『今にジャキをもつて墜ち込むだ軌道をまき揚げます』といふた、そして『閑院宮樣の御通りまでには船橋でも間に合せます、鐵橋の假修理は尠くとも茲三四日はかゝりませう』と答へた、川を渡つて三幕洞の橋梁に來ると此處の崩壞した築堤も

◆一夜の間に 土嚢をもつて築きあげられてあつた、午前九時頃其處へ建築列車がやつて來た、列車は夥多の枕木や丸太やそれに漢江の川船を積むで修築の橋梁を安全に通過した『モウこれからは大丈夫、人夫は皆んな安養川に差向ける』と監督の人は安堵した態度で笑つた、それから

◆始興驛まで は軌道全部修

▼十三日中に開通するか 徒歩聯絡困難にあらず 始興軍浦塲間の徒歩聯絡は強健の者ならば約三時間にて比較的容易なり京城水原等にて喧する程道路困難の塲所なし安養驛を中心として南北の三哩許の間に鐵橋數個所破壞し居れるが十三日中に開通するや否や不明なり(軍浦塲特電)

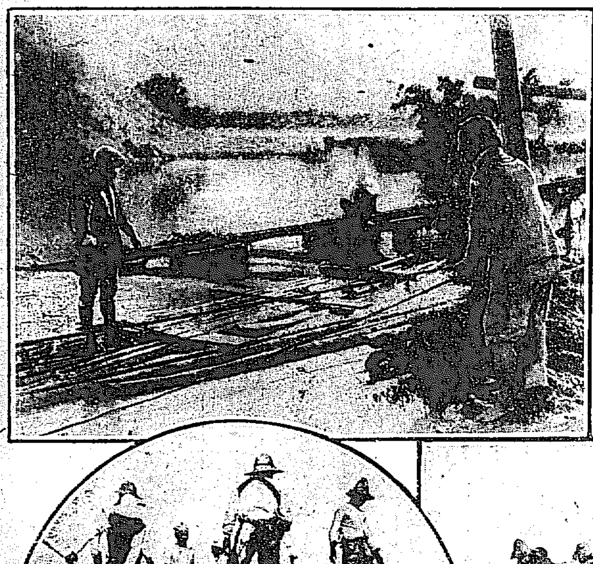
築され始興の驛はまた昨日に優る雜沓であつた、十一日始興驛の昇降客は合計三百四十六人他に直通切符の人も尠からず平年の約五倍に上つたとのことである、驛長は旅客の切符に證明證を付けるやら電話に呼びたてられるなど非常な多忙のやうであつた

金玉均氏を暗殺した李世稙
富豪より數千圓を詐取す

京城鍾路六丁目兩班朴鍾來(四〇)は敦義洞の名家にして富豪なる金基重方にて基重と養母との間に於て財産爭ひの爲め裁判所に民刑事の告訴或は訴訟を提起する等昨年舊八月以來紛擾を釀し居るを探知し眤懇なる貫鐵洞居住の兩班にして故金玉均氏を上海にて暗殺したる李世稙(五八)昌信洞居住兩班鄭賓範(四〇)と共謀し朴鍾來は常に金基重方に出入する關係上

▲基重は幼年者 なるを以て其監督者なる金鍾漢(基重の妻の叔父)を介して家庭紛爭の事件を一掃し有利に解決し遣はすに依り運動費を支出せよと甘言以て說きたるも世馴れたる鍾漢は一言の許に刎ねつけて應せず茲に於て三名は更に策略を弄し鍾漢に秘して遂に基重を籠絡し現總督府の高官中眤懇なる某等三名に對し運動を試みざれば到底解決し能はざるに依り是れに要する運動費を支出せよと欺き本年舊四月以降十數回に三千八百餘圓を騙取し朴鍾來が三千餘圓を取りて殘金の中を賓範に五百七十五圓、世稙に百二十圓與へたり然るに世稙は鍾來が一人にて

▲多額を着服し たるを知り公然の處置に出で難きより更に賓範と共謀し又も基重を欺き世稙が十八年支那に紅參を輸出したる際時の政府より領收すべき金員八十萬圓あり其證券を所持せるに依り全部領得しなば四十萬圓は基重に贈與すべしと欺き遂に運動費として三千圓を支出せしめ賓範が二千圓世稙が千圓に分配し又鍾來は其他基重より多額の金員を騙取したること等發覺し何れも鍾路警察署の刑事に採知せられ引致取調べの上檢事局へ送られたり



京釜線水害畫報(二)……安養驛附近にて

海賊事件言渡

一時社會の耳目を聳動せしめたる野崎優に對する慶北盈德郡江口港外に於ける海賊強盜其他恐喝取財事件は十一日大邱地方法院に於て判決言渡されたるが被告優は彥壽と共謀し優の妻つねが片東鉉と醜關係ありしを奇貨とし片東鉉を恐喝して賠償を齎さんとせし行爲により被告優は懲役八箇月同被告彥壽は懲役五箇月に處せられ被告つね、彌太郎、淺次郎は無罪となり又優に對する横領罪に關する公訴及び被告優、一男、一義、平十に對する公訴は是を受理せず且つ後者は恐喝取財として大正五年二月七日盈德裁判所に公訴を提起され現に大邱覆審法院に繫屬中にして則ち本件は既に繫屬せる事件の再訴に係るを以て公訴を受理すべきものに非らずと認むとの理由なり(大邱)

◎福田警視危篤 平壤警察署長(…)警視福田順裕氏は十一日夜俄に心臟病を發し全く危篤に陷りたる由 氏は熊本縣出身にして舊韓國政府時代來りて警視に奉職し後警務部衛生課より東大門署長を經て地方に赴任して現職に就きし人なるが常に敏腕の聞え高く本年五十歲なりと

◎腸窒扶斯發生 仁川敷島町居住の醫師田虎吉(四四)は先達來腸を損じ醫師に就き治療中なりしが此程腸窒扶斯に變じ危篤に陷り傳染病院へ收容する能はざる容態なるより目下自宅にて治療中なりと(仁川)

◎遣佛救護班歸る 豫て佛國に派遣中なりし日本赤十字社救護班は十二日神戶入港の伏見丸にて歸朝せり(大阪特電)

◎十六尺に減水す 九日夜來の豪雨のため漢江は十一日午前十一時龍山附近に於て二十九尺に達したるも十二日午前八時十六尺に減水し尙ほ漸次減水しつゝあり

◎琴古流の演奏會 京城琴古流尺八研究會にては今回同流の家元川瀨順輔氏及び同夫人の入京を機とし同師の舊門下生發企となり十六、十七日の兩日午後七時より朝鮮ホテルに歡迎演奏會を催すべく今回は一回にて兩日共京城の宮城大檢校、岡田松葉、(箏)家村省楓氏及び大連より川瀨氏の同行し來れる足立秀風氏等外斯道の名手十數名出演すべし

▲十六日 一本曲(瀧落)(家村省楓、川瀨先生)二千鳥の曲(管樋岡仙楓、同中村古楓、箏本手間持芳未定)三梶枕(管足立秀風、川瀨夫人)四秋之露(管前田翠雨、箏高原夫人、絃宮城大檢校)五宮城作曲秋の初雲(三部合奏)六…之果(管川瀨先生、絃同夫人)七山田松風 八夜小督組(宗空、箏岡田松葉)八宮城作曲秋風吟(箏獨唱宮城大檢校)九酒(管家村省楓、箏宮城大檢校、絃宮城夫人)十雪(管川瀨先生、絃同夫人)十一本曲雲井獅子(五名連管)

▲十七日 一本曲(瀧落)(家村省楓、川瀨先生)二茶湯音頭(管上野阿楓、箏絃未定)三八重衣(管小曾根宗空、絃川瀨夫人)四宮城作曲唐砧(四部合奏)五宮城作曲秋の夜(管前田翠雨、箏宮城大檢校)六竹生島(管高原夫人、絃宮城夫人)七山田熊野(管家村省楓、川瀨先生、絃同夫人)八深山獅子(管足立秀風、箏岡田松葉)九宮城作曲水の變態(箏獨奏宮城大檢校)十殘月(管川瀨先生、絃同夫人)十一本曲雲井獅子(五名連管)

◎本能寺貫主示寂 京都日蓮宗本山本能寺貫主服部日義師は本年七十七歲の高齡なるが過般來急性膵臟炎にて臥床中十日午前六時示寂したり十一日午前九時洛漢寺火葬場の茶毘に附し山內貫主の墓地に本葬を營むと(大阪)

尺八の生命は位と品
禪味を取り去れば尺八の眞髓は無い
昔は乞丐法界屋今は上流階級に流行

尺八は昔は可なり盛んなものであつたが明治四年普化宗が廢されて以來管を手にする者は法界屋や乞丐の類ばかりとなり、自然地方では之れを

◆厄介物 扱ひにしてゐたのであつた、然かし近來になつて漸く尺八の眞價が認められる樣になり、乃て私は尺八の趣味を地方に擴めたいと二十年來努力した結果それが漸く地方に普及さるゝに至り琴三絃にも劣らぬ迄となつたのです、十數年前私は關西、中國、四國、九州を三年間に亘つて巡遊したのですが今日では東京以外に其地に於て頗る盛んになつてゐる、殊に私の流が九分通りになつてゐる

◆琴古流 を繼けて來た…尺八は元禪より出たもので尺八から禪味を取り去れば其處には唯一個の形骸が殘るのみである、華麗なる曲を吹いても其の內には禪の淋しい味と落つきがありたい

◆風韻が 高くありたい

先づ位を第一に品を第二に華麗を第三とする事が肝要です、若し之れに反する遊び風で尺八を吹く者があればそれは強いて尺八の長所を捨てゝ短所に就く者であつて品位と華麗を顚倒するに至つて尺八の眞生命は沒されるのです、普化宗時代の本曲なるものは今の時代音樂とは言へない、深く尺八の道に志さうとするものは本曲を調べないものは尺八の眞髓に

◆靈氣に 觸れる事は出來ない、業は出來ても尺八の精神に觸れなければならぬ、これを文學に例ふれば時代的の詩文を作るに萬葉集、古今集等の古典に通じ歷史を遡つて行かぬ者は造詣が淺くその內容の充實しないのと同じ樣に今後も新らしい流派の勃興し不世出の天才が出て流派を案出する事は斯道のために慶す可きですがその場合には必らず古來

◆古人が 苦心を重ねて苦心したところの斯道の智識、技術を基礎として更にそれに時代に沿ふべき曲節を開拓したものでなければならぬ、尺八を教授とする專門家は營業といふよりも自己の天職であるといふ事を忘れてはならぬ、此の自覺が無ければ斯道の發達は期し難い、尺八を營業として取扱ふ樣になつた時は既に墮落の一兆に踏込んだのである、尺八界に於ける目下の急務としては技術の巧拙よりも尺八に從事する者の天職としての自覺である、然かして竹藝の時代を脫して竹道に進みたいのであります

●東萊溫泉行き不通 七日夜來の大降雨にて出水の爲釜山…急ぎ居れば近々開通すべしと…

●釜山停留者 九日午後壹岐…近久安…山田せい、同つま、…尾西ひで、松原孝吉、同わつ、永田…保坂恩太郎の廿二名

寄席と活動

▲大正館 十三日より特別興行として全部新寫眞と差替へたるがその主なるものは▲活劇軍使全三卷六千呎▲實寫ナゲリヤ灣の風景▲滑稽メリピンブルの探偵▲…活劇軍使全三卷六千呎新派悲劇小夜嵐全三卷二十八場▲喜劇貧乏人と澤山の子供大每連載新劇柳生重兵衛旅日記全三卷

▲浪花館 女義太夫竹本林之助一座の花形揃ひにて毎夜好評を博しつゝあるが五日目十三日夜の語り物左の如し
▲梅野由兵衛米樂町(廣久)▲鎌倉三代記三浦別れ(林廣)▲八陣政清本城(住子)▲御所櫻堀川慶上使(林玉)▲三十三間堂平太郎住家(は升治)▲忠臣藏本藏下郎(久子)▲布引小櫻實め(廣治)▲靈坂・林之助東馬鶴ツレ引竹本久子)

▲有樂館に浪花節 有樂館にては浪花節の餘興として浪花節を出演せしむべく今回大阪より吉田奈良丸、吉田浪子の兩名を呼び寄せ來る十五日より出演せしむる筈なり

▲林之助の上り詰め 浪花館に出勤中の女義の林之助が十一日の晚堀川を語つてゐる內その熱心が上り詰めて頭がクナつき一時騷ぎ下ろしたが暫らく休んで續きを語つたが十二日からはすつかり元氣になつて高座を勤めてゐる

◎野球團大連 東京野球團天狗倶樂部一行十四名は十二日門司經由商船哈爾賓丸にて大連へ向ふ(門司特電)

◎倶樂部送迎會 仁川倶樂部會員等は今回更任せる當地府會社前支配人山內氏及び新任の林氏の爲めに十三日午後六時より仁川ホテルにて送迎會を開催すべしと(仁川)

◎野田分院の移轉 野田商科醫院仁川分院は今回本町三丁目に移轉し從前通り治療に從事する由

京日案內

普通
◎內鮮人外交員數名採用す希望者は履歷書携帶本人來談あれ 京城花園町一二三 中央金物新報朝鮮支社 217
◎數學國語の教授に經驗ある教師採用したし▲希望者履歷書持參あれ 大漢門前 國語普及學館 215
▼朝鮮に關する書籍類は報告書に至る迄取揃へ有候 京城本町一丁目 電二五二七 ウツボヤ書店 165
◎自働車運轉手見習壯健者一名入用年廿四以下保證人を要す希望本人至急來談 水標橋通 京春自働車商會 207
◎松汀里光州間自働車は太田木浦間凡ての列車に聯絡す▲光州加藤自働車運輸部
外務員入用 自午後四時至六時要來談 若草町二八八 文耕堂 205
◎名灸 ◎血の道 ◎痛 ◎胃 ◎腸 ◎氣 根治 若草町若草湯前 堀內正文 94
古本 高價買入 京城本町三丁目 東京堂書店 163

番外
◎外交員募集 男女各二人報酬は成功報酬詳細面談 開城大和町八十七番地 日本生命保險株式會社開城代理店 218
外勤員採用 舊官吏を望む 毎日午前來談 八千代生命保險京城支社 永樂町二ノ七六 電話一一三 216
店員入用 年齡二十五歲以上にして是迄重石に經驗ある者雇入たし但し確實なる保證人二名を要す 199
通譯入用 露國語に熟達せる者一名至急入用年齡卅歲前後にて市內確實なる保證人を要す委細本人面談あれ(姓名在社) 213
京城春川間行自働車賃金片道四圓 大門通二丁目 廣橋自働車 電話二一九番 主務 金正淵 195
京城春川間毎日午前八時出發 乘合自働車 間合 京城發前九時 京城水標橋通り 賃金片道四圓 ◎春川發前七時 京春自働車商會 電話武壹參八番 支配人 松田壽男 202
▲高給外務員採用 京城明治町二ノ四六 東京國債朝鮮支部 20.
恩給 年金 退隱料 即時立替 短期無保險利壹歩武厘五毛 京城武橋町二三番地 京城日報社北方一丁 國江商會 210
礦物定量分析 京城府太平通(朝鮮公論社左小路) 電話一三四四番 坂元分拆所 185
◎はねつき(うちみ、くじき)等 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 179
恩給 年金 長期 即時現金 短期無保險月利一歩二厘五毛 京城南大門外(舊御成町) 山口屋 168
恩給 年金 立替 一利月一歩 並諸公債 株券取引 櫻井町大正館向 博多屋本店 142
こゑる藥 身體やせて種々療養効なくお困りの方へ郵券三錢封入申込あれば說明書呈す 身體肥滿で害となる 東京市麻布區三河臺町 小川藥院

最上醬油 朝鮮仁川港 高杉醬油釀造場

新荷著 スヰツル製 懷中時計
機械精巧 正確無比 體裁優美 然も實用的にして價格の低廉なる事天下無比
十七形 ニツケル(兩蓋) 四圓五十錢
[illegible]
アメリカ製十四金ペン付萬年筆 …
右は今回新着の商品にて本商會獨り之を有し他店に無き所のもの伏して御注文の程奉願候 小包郵便にて御送附申上候 時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒、各國雜貨直輸入商
イングレッツレー商會 本店 京城本町二丁目 電話九七二番

醇良清酒
仁川本町四丁目 吉金酒店 電話七六四番

女鳩

渡邊默禪

「二〇三」あゝ大變!!

約十五分の後、最も壮烈な人と熊との格闘——血で彩られた活劇の幕が切つて落された。

先づその衝突の口切は石投から始まつた。續いて枝つきの儘の生木を穴にぐい〳〵と突込んだ。獵師等はかくして熊を極度まで怒らせ、それから銃殺するのを定つた順序としてある。でないと折角打取つても、一番金になる熊膽の値段が下ると昔から言傳つてある。何かの生理的作用でそんな結果を生むのか、それは分らぬ。

凍ついた石は擲彈のやうにばら〳〵と飛んでゆく。最初のうち恐怖の目を睜つて後退してゐた二頭の熊は挑まれるにつれて次第に勇氣づき、ヴオーと高い唸聲を擧げて對抗の姿勢に移る。頓て牙を鳴らして驀然と洞の口に進んで來る。機を覘つて枠木の間からいきなり生木を差込むと猛然と飛蒐つてその木を滅離々々と噛碎く。碎いた木の幹へ爪をがつしと立てゝずる〳〵と曳摺つてゆく。續いて第二、第三の木が打込まれる熊は同じことを繰返して死物狂ひに跪き廻る。

だん〳〵穴を狹められて口許近く出て來たのを見ると一頭は身長五尺餘り、毛はやゝ赭味を帶びて牙も比較的に長く、一頭は少しく小さく、天鵞絨のやうな黑毛に全身を包まれて喉のあたりの純白な月の輪も取分けて美しかつた。

響き立てる物音、わッといふ鯨波。ごろ〳〵と石を轉がす地響、ばりばりと木を食裂く牙の軋り。犬の吼ゆる聲、熊の呻き。それらが混亂した一種異様の騒音になつて、山の崩れるやうに洞の内外を震撼させ遠い遠い谷にまで怪しの木精を打たせた。

鳩子も大野も急いで馳寄つた。そしてひとしく目を睜つた時に思はず身顫ひせずにはゐられなかつた。

何といふ物凄いことであらう。一頭は人の如くに直立して枠木に獅噛つきながら、藤蔓の結び目を咬碎いてゐた。最う狂亂した眼の巨きな瞳から金星のやうな熱した炎が迸つて、渾身は毛の逆立つばかり烈しい怒に滿たされ、牙を扱るごとに死鑿をあてるやう、ごり〳〵と音して木の纖維が微塵になつて落る。一頭は楯のやうな背に波を打たせて檻の下方から突破すべく必死と狂つてゐた。その銀色の爪の鋭角が引かゝるたびに、さしも堅牢に組合はせた枠木がめき〳〵と撓んで、あはや一たまりもなく挫折れさうである。

それを五六人の獵師が左右に別れて支ねながら、竹槍を扱いて突いては逃げ、逃げては突く。

『もうよかん!避けろ!』

源作は前面の巖の上に魔王の如く突立つて四邊に響く大音を揚げた。獵師等の潑と散つたのを機會にドンと打つて放した舊式銃の彈丸は、檻の前面に直立した一頭の喉に命中した。突然として起る大咆哮。手負の熊は洞の口をぐる〳〵と回轉した。

『殿さま、撃たつしやい』

『おう!』。

むず〳〵して腕を揉つてゐた子爵は、得たりや應と半無鷄頭の單身獵銃を抑取つて、延臆射撃にかけた。

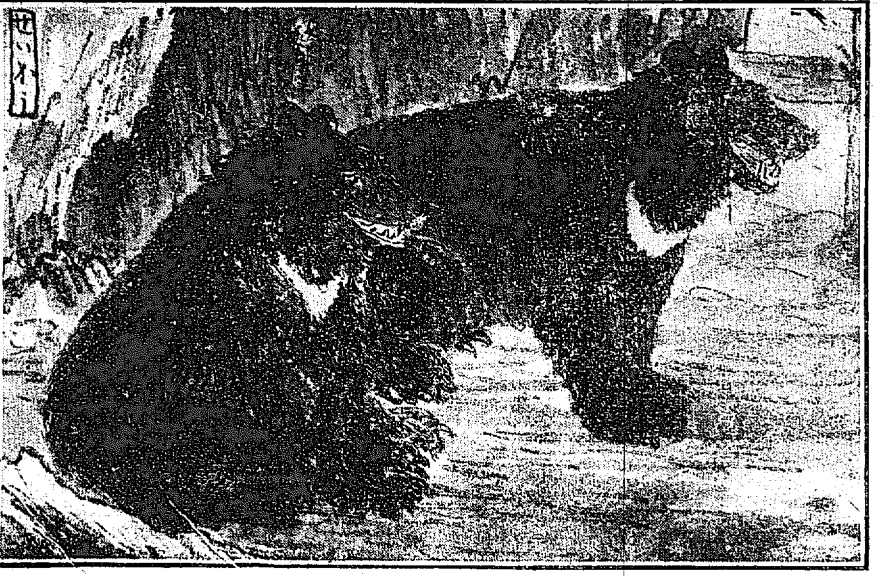
その彈の一發は手負の一頭を射止め一發は俯きの姿勢をとつて狂つてゐた一頭の臀部に中つた。

『あッ、失策つた』

狙ひが外れたので、子爵が近に三發目をくれようと銃を把直す刹那、痛手に激した討洩らされの一頭が、枠木を破つて猛然と躍り出した。

『そら、出たぞッ、打て〳〵』

源作は驚いて叫んだ。獵師等は銃を把直す間もなく、ばら〳〵と逃散つた。熊は雪を蹴立てゝ一直線に谷へ飛んだ。あッ其處には鳩子が居る!!



□公州山城吟社句集 ——八月廿五日於花仙莊——

大男調子外づれて踊りけり 神岳
筏多村の踊に叩く太皷哉 孤秋
初秋の田舎に打ちぬ旅役者 同
甘酒の行燈更けぬ踊の輪 空堂
初秋の障子洗ふや流れ川 同
秋既に石に鳴き入る虫の聲 光香
初秋や我顔うつす金盥 同
笈投げて輪に這入りたる踊哉 友萍
灯に落ちし虫の死の骸哉 同
虫鳴くや瓜小屋解く畑の末 如風
お露掾きて去年に寂れし踊哉 同
隈取の朱を溶く皿や桐一葉 雨村
家人去で對局の主客虫鳴けり 同
大なる月踊はじまりぬ 同
踊子は前髪はさむ足拍子 鳥亜
濱夜中や覺めて虫聽く岸の家 同
月がさす露の松原踊りけり 同
高ならず足駄月夜の踊哉 同
雲に對す夕日の窓や一葉散る 同
石打てば鳴き止む鵙や籔の中 友村
漁季果てし磯や今朝聽く初嵐 石香
荒畑や岡を眺む鵙の聲 雨萍
橋を越す廣告旗や初嵐 同
鵙の鳴く杭や萩垣傾ける 同
鷄頭の抜き捨てゝある初嵐 鳥兎
鄰邸の杜に百舌鳥啼く日曜日 同

新刊紹介

▲圍碁襲撃戰法『四段瀬越憲作著』 拆及樹各七種を講述せり前者に於ては三路、四路、五路及斜三路拆、尖より斜拆、高目より斜拆、五路拆小斜關等への襲撃法を後者に於ては一路網、小斜路網、大斜路網等の兩翼、各種獅片與、一路網、小斜網、大斜網等の兩翼への襲撃法を説けり百八頁二百餘圖解説平明にして要を得たり(六十錢東京市日本橋區北槇町一〇大阪屋)

▲烈女秀『教育講談第十一輯』 少年少女の爲めに早川貞水の講演せるもの小無都加數修身論より勇士烈女等の興味ある事跡談が活ける教訓として效果あるは論を俟たず此の意味に於て本書を推獎す(十錢東京市日本橋區吳服町三二大江書房)

▲實驗メロン栽培法『千原清著』 甜瓜の産地たる朝鮮は又メロンの栽培に最も適せり然も此の良瓜の市に出づる少なきは一に趣味の底救なると栽培の法宜しきを得ざるとに依る著者は甞て帝室御苑に二十餘年之が栽培に從事し幾多の經驗を有するの人即ち本書の所説は直に之を實際に應用して好果を擧げ得べし(三十錢大阪市阿波座中通一ノ三八關西農報社出版部)

▲體育本位教育講話『東京高等師範學校教授乙竹岩造著』 著者が文部省講習會に於て柔道擊劍講習員の爲めに講演せるものを基礎として幾多の補正を加へたるもの體育を中心とせる教育者の試と謂ふべく論旨明透行文平明趣味ある多くの事例に富み容易に理解するを得べく專門家的臭味を帶びず何人にも一般家庭の讀物として頗る適當なるべし(八十五錢東京市小石川區大塚坂下町一一四柔道會本部)

▲流行『九月號』 晩夏初秋の流行界を捕及び諸品模樣と其他雜共他(十五錢東京市日本橋區通一丁目八白木屋吳服店)

▲愛知縣商品陳列館報告『八月號』 販引に關する各種の紹介及び滿洲の棉蠟製造業と罪蠟材料等(五錢愛知縣商品陳列館)

▲謡の友『九月號』 謡び樣には清經、京舞、熊坂等あり其他謡曲問答界の消子に同化し得る女の謡子、黒人替其他(十五錢東京市神田區猿樂町二の一一能樂通信社)

▲警務彙報『八月號』 美濃部博士の民事上不法行爲と警察官の權限、牧野博士の盗亡防止を目的とする留宿所の戸締、永野法學士の朝鮮警察法規の淵源、松井警視の朝鮮に於ける隱君子と妓生の由來、藤野義雄の藝娼妓又は酌婦と其の抱主間に於ける契約に就て等一讀を薦む(十五錢朝鮮總督府警務總監部)

▲何が高い彼が高いとケチクサイこと云はんときなはれお役人さんでも職工でも内地よりは倍位のお錢を貰つて居なはるくせにあほらしい(得手勝手生)▲糞便運搬車を白晝道路の片側や人の軒下などに置いて迷惑する事とは一通りでない衛生々々と喧しく云ふこと甚だ矛盾して居るでないか大阪の樣に日の出ぬ内に何とか處分する方法を考へたらどうだ(大阪者)▲南大門の樣な人出の多い停車場には靴磨の一人位置いたらよからう殊に西洋人や洋裝の者の出入も多いことであるから必ず相當の收入があると思ふが如何なものにや(通行客)▲電車の車掌が乘客から錢銀を取つて鈴を鳴さないで居ることも度々だが僕は黄金町の活動寫眞からの歸りに二度程薩摩守で乘れた(注告生)▲京城の名高い店の營業振を見るに出來る丈け顧客を寄せつけぬ樣にするつもりにや店員などの不親切なことは非常なものなり一度行つたら又と行くまいと思ふ樣な店が却々多いのは寒心の至りならずや(老舖の小僧)▲貴紙九月十日朝刊讀者の領分父兄の一人生に送る小學校增設は來新學期より立派に兒童の通學出來る樣に間に合ふ事受合なりナント御安心でしよう(甚否天通生)▲湯錢が高い理髮賃が高い家賃が高いと騷ぐ諸君宜しく根本より値下すべし第一高價なる汽車賃を下げよ又水道料を下げよ但官吏は本給以外の手當等一切全廢すべし而して後初めて公平なる物價を定むる事を得(公平生)

商況

大阪三品
十二月限 一四九、九〇 一五九、二〇
一月限 一五〇、一〇 一五九、二〇

大阪期米(十二日)
寄付 高値 安値 [illegible]
中限 一四、二九 ……
先限 一四、六九 一四、二九

地當市出來不申先十二回三十八錢と四錢高に寄付九錢ともたけたるも賣物多く四錢と押たるが押目は又買物あり無理にも下押さず市場商内の押上三節を盛りたるが大阪正米賣物多く伸びいも買物現れ意外の大[illegible]出して散會なり

▲後場の手振 [illegible]

▲今大に買ふ [illegible]

遂に十萬四千六百五十石と當[illegible]の八月限の五十石より更に[illegible]萬石の增加にて高取組八萬五千餘石より更に[illegible]新記錄を作り賣[illegible]向の大取組である[illegible]一層の大取組となる[illegible]

十二日の十一月限
平均 一二圓[illegible]
九月限 [illegible]

流經新藥レスノリン
月經 閉止經過四五ヶ月以內ニ應用シ目的ヲ確達ス
其流經作用ノ確實ナルコト他藥ニ優越ス◎一瓶一圓(送費內)
地方ハ十二錢海外卅錢切手一割增 說明書三錢切手添申越次第進呈
大阪北區曾根崎上一丁目三六 發行所 常盤藥院 振替大阪三[illegible]番

博士創製の毛生へ藥
田中醫學博士方劑
◎說明書無代進呈
前帝國大學教授田中醫學博士が多年苦心研究の末此度創製せられたフミナインは流石に名高い皮膚科專門の博士が創製だけあつてこれまでのアリフレタ藥と違ひ禿頭、病毛、脱毛、薄毛、腫物禿、かもち禿、眉毛、生へ際其他あるべき所に毛無きに用ひて少しも身體に害が無く奇妙に毛を生やし脱毛を止めますハガキで東京芝愛宕町二の一東京藥院へ申込になると毛の手當と藥の說明書を封書で送ります

鎮海巴町 青木古物店 何でもある安價注文を乞ふ

迷ふ勿れ 腦病神經病者よ
島村醫學博士有効證明の健腦丸は幾多の患者が實驗して其偉効に驚く唯一の腦病神經衰弱諸症の最適藥である。常用すれば逆上を引下げ便通を快し記憶力を增し中風卒中を未然に防ぎ危險な腦充血を治す。

かゝる時腦病を自覺せよ!
一、逆上頭痛耳鳴眩暈起る人。
二、神經痛み仕事手に着かぬ人。
三、頭腦に重き物被る心地の人。
四、便秘又夜分眠られざる人。
五、頭腦茫とし記憶健忘の人。
六、事務執るも直疲勞する人。
かゝる兆候起る時スグ健腦丸服用を怠る勿れ
(價)一週分七十錢 半週分四十錢 四週分二圓七十錢 十週分五圓
大阪心齋橋二丁目 丹平商會藥房
大阪市平野町 丹平商會分店
東京日本橋 丹平商會支店
▲賣捌は全國有名藥店に取次す

愛用者の聲 美顏白粉を御使ひになつて(其九)

美顏白粉は、品質が飛拔けて良いので大變な人氣を引き起しましたにつけ、各地の愛用者から贈られた感想を謹んで茲に御紹介致ます

五六、たまもの 樺太本斗村真岡小學校內 家久とし子殿

私は美顏白粉を使つて感じました事は第一に生れつき色が白いやうに附く事でした、それに大そう美しい光澤が出て、そばで見ても其れとは一寸見分が附かず、ほんとに奥床しいお化粧が出來るのです、私の知つてゐる方々はじめ、私までも顏の生地まで白く、そして活々した美しいつやがありますのは、全く學者の作られた美顏白粉の賜であります

五七、お茶の會 埼玉縣本庄仲町 渡邊千代子殿

親しい〳〵お友達、鶴子さんは斯う語られました、鶴子さんのお許しを蒙つて書きしるします

昨日のお茶の會、あれが見合であらうとは私ちつとも心付きませんでした、でも何となく心配で、女の命とも云ふお化粧の崩れはせぬかと、何度ふところ鏡をのぞいたか知れません、不安で眺める鏡の面には、少しのみだれもなく且つ品のよい化粧ぶりに今更ながら美顏白粉の他の品々に數等優れる事をつく〴〵感じました、私はこの從來の白粉に無い品質を持つ美顏白粉を御創製下さつた先生方に深く〳〵感謝いたします

五八、不思議な特長 千葉縣銚子町西芝下町 外部田稲子殿

お隣の雪子樣は、それはすぐれた御容貌でもいゝけれど、またお化粧の上手なことゝ、母を始め私どもでは雪子樣の毎も厭味のない、上品な美しいお化粧のお手際に感心して居りましたが、或日色々お話の序に伺つて見ましたら、それは學者の作つた白粉として名高い美顏白粉を使つて被居るのだとわかりました、直ぐ需めて試してみますと、まあノリやノビの良いこと殊に美顏水で溶いて用ひますと白粉がほんとに思ふ儘に附き光澤が如何にも美しく附きます此樣な簡單で手早くそして眞に美しくお化粧のできる不思議の特長は美顏白粉の外に無い事を思知りました

五九、色さへ白くば 東京北豐島郡三河島町 島野ふじ子殿

色さへ白かつたら譬へ不具でも…とまで時には思詰める事もある位、私は自分の色の白く美しくない事、從つてどんな白粉でお化粧しても綺麗に行かぬ事を苦にして居りました、姉も不憫に思つてか、年玉や中元には毎も化粧品でした。今年の御中元は何であらうかと開けて見ると、其れは美顏白粉と美顏水で、これが私の使ひ始めでした。一度使つた丈けで從來の種々の白粉とは違つてお化粧が如何にも綺麗に出來るのに勇立つて、それからは毎日缺さず使つてゐますが、此頃では生地も大變白くなつたといつて姉も喜んで呉れます。それも偏に諸先生のお蔭と厚く感謝して居ります。

六〇、白粉中の白粉 兵庫縣揖保郡千本村 國重梨花子殿

妾のお化粧が近頃上手になつたと仰在るの?那麼事御在ませんわ。妾のお化粧法つて、唯有名な、學者の創製になつた美顏白粉を毎も使つてゐるだけですわ。色々と白粉も澤山使つてみましたが、美顏白粉程なのはありません。第一色が至つて白く、よく荒れた顏にもそひ、ノリや、ノビも他に類なく、いつ迄置いても堅くならぬ等は此白粉の特色でせう。妾は此白粉が白粉中の白粉だと思ます

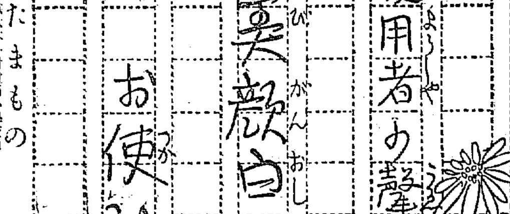
六一、嫁ぎ行く人 岡山縣津山町 うたかた女殿

美しい妙さんの花嫁姿を思浮べながら通ひ馴れてゐる門を入つた。勝手は分つてゐるので、そつと裏口へ廻つて化粧部屋に行つた。『今ね、白粉が乘らなくて困つてるの。』と毎にない叔母さんのそわ〳〵した御容子。私は若しやと持つて來た美顏白粉を溶始めた。『いゝ匂ね。』と妙さんが小聲で言ふ。思切つて濃く附けた襟足ほつこぼかした頬の薄紅。『まあ美顏白粉で綺麗に附いたこと。』と思はず微笑む時、叔父樣の室の方から樂しい笑聲が洩れて來た。

2576 122.9

富の道しるべ 山縣五十雄 村上唯吉共著 價十五錢 郵稅二錢
京城太平通 振替三〇〇番 京城日報社代理部

朝鮮總督府許可



■內用 精 効能 神經衰弱、老衰、痳病、神經痛、胸病、痔病、腸病、子宮病、胃病、營養不良、病より起る諸病の滋養強壯劑なり
■外用 精 効能 神經痛、腰痛、凍傷、火傷、打物、切傷、傷、腫物、肩の凝、虫に螫れた時、筋の張等によし
定價 六十五錢 一圓二十五錢 二圓二十五錢 四圓二十五錢 三十五錢 六十錢 一圓二十錢 [illegible]

人蔘エキス 滋養藥 朝鮮名產一切 人蔘直引大販賣所 藥餌製造發賣元
京城本町一丁目 津村兄弟商會 電話一四八〇番 振替京城三五二番
特約店 北島藥房 古城藥房 廣岡藥房 松屋 阿部藥房

大邱浦項間自動車時間 [illegible]
大塚農場自動車部 大邱出張所 電話一一七番
金泉醴泉間自動車時間 [illegible]
金泉織居自動車支部 金泉電話四八番

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽、牛莊行
相模丸 十月九日 正午出帆
高砂丸 九月十七日 正午出帆
三河丸 九月廿八日 正午出帆
仁川海岸町十一丁目 堀回漕部 電話十二番

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
君か代丸 九月廿二日後四時出帆
大有丸 九月十九日後四時出帆
神代丸 九月十五日後四時出帆
秀吉丸 九月十二日後四時出帆
仁川海岸通 高杉回漕部 電話五十九番

共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行 關東都督府命令船 第十六共同丸 九月十五日後四時入 九月十七日前九時出
乾飾鐵道主要驛にて荷客連絡輸送御取扱仕候 大連にては青島行定期船接續荷客共直航船と同額運賃にて通し輸送御取扱可仕候
○城津、清津、浦鹽行(元山出帆) 第一阪鶴丸 月 日後九時出
○西湖津沿岸各港を經て雄基行 月 日
第三共同丸 元山出帆 月 日前八時出
阿波國共同汽船株式會社 本町一丁目(電話一〇八番)
仁川代理店 山下回漕部 春日町(電話二四七番)
元山代理店 田口回漕部
京城取次店 河村運送店 南大門(電話二六八〇一七)

大阪商船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行 須磨丸 九月廿一日 安東丸 九月十八日 大智丸 九月廿四日 後五時出
○木浦、釜山、巖原、郷の浦、長崎行 信濃川丸 九月十四日 信濃川丸 十月二日 後二時出
○群山、釜山、横濱行 福州丸 九月十三日 潮州丸 九月廿八日 後二時出
○木浦、釜山、關門、神戸、大阪行 天智丸 九月十二日 後二時出
○鎮南浦、大連行 信濃川丸 九月廿七日 信濃川丸 十月十五日 後二時出
○大連直行 福州丸 十月三日 潮州丸 九月廿三日 正午出帆
○鎮南浦行 天智丸 九月十四日 正午出帆
○清津、城津西湖津ニ寄港浦潮行(元山出帆) 安平丸 九月廿四日 宮島丸 九月廿二日 前六時出
○上海、芝罘、打狗行(大連出帆) 基隆丸 九月十三日 後四時出 湖北丸 九月廿一日 後二時出
御注意 ●印は朝鮮鐵道及滿洲鐵道との聯絡切符發賣 ×印は[illegible] ○印は本船にて一等客取扱可致候
大阪商船會社仁川支店 電話二番五三番
京城切符發賣所 [illegible]

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行 立神丸 月 日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行 山神丸 月 日後十時出帆
○元山、城津、浦鹽行 小倉丸 月 日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 月 日後六時出帆
○住須奈、嚴原、壹岐、博多行 天眞丸 毎月一日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山港立新町 本船取扱店 大池回漕部

朝鮮郵船出帆
本社 京城南大門通 電話長一九五一番 各道支店、出張所、代理店、荷客取扱店に御照會あれ 京城荷客取扱店 松原運送店(電話一七〇七)
○全羅丸 九月十九日 ○京畿丸 九月廿九日 ○黄海丸 十月 日 ○咸鏡丸 九月廿三日 釜山發 (門司より釜山各港寄港群山間航路)
○慶尚丸 九月二十日 ○昌平丸 九月十八日 ○鏡城丸 九月十四日 元山發
○忠清丸 九月十五日 ○平壤丸 九月廿七日 元山發 (城津清津浦鹽行復航釜山より門司又は長崎行)
○永興丸 毎月廿八日 元山發 (北久味五里浦行)
○德山丸 九月十五日 釜山發 (甘浦九龍里浦項各港寄港鬱陵島行)
○江陵丸 ○寶陽丸 毎日 浦項發 釜山發 (長生浦方魚津寄港)
○三浦丸 九月十八日 釜山發 (長承浦蛇水巨文島濟州島各寄港)
○海州丸 ○統營丸 毎日 釜山發 (各港經由麗水行)
○巨濟丸 ○慶寶丸 (三日目一回水浦行)
○順天丸 三日目毎ニ 木浦發 (各港經由麗水行麗水より釜山行ニ接續)
○慶興丸 九月十八日 木浦發 (各港經由濟州島行)
○慶興丸 九月廿一日 木浦發 (南多島海列島行 月三回)
○公州丸 九月十六日 木浦發 (各港經由濟州島(東廻))
○宗信丸 九月 日 仁川發 (海州他各港經由德洞又は白翎島行)
○江原丸 九月十五日 仁川發 (青島大連芝罘行)
○晋州丸 ○麗水丸 九月廿一日 九月十七日 仁川發 (各港經由木浦行)
○全州丸 ○南陽丸 毎日午前 仁川發 (江華島、喬桐島、海州行)